

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>ば代替格納容器スプレートを再開する。</p> <p>なお、A格納容器スプレー流量、燃料取替用水ピット水位等により格納容器への注水量を把握し、格納容器内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまで注水されたことを原子炉格納容器水位計等により確認すれば、代替格納容器スプレートを停止する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり運転員等1名及び緊急安全対策要員2名により作業を実施し、所要時間は約75分と想定する。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。ディスタンスピース取替えについては、速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.6.7)</p> <p>放射性物質の濃度低下については、代替格納容器スプレー手段を用いて格納容器へスプレーすることにより、格納容器内の圧力及び温度を低下させるとともに粒子状の放射性物質の除去により放射性物質の濃度を低減する。さらに、A格納容器スプレーポンプ（自己冷却）によるよう素除去薬品タンクの薬品を格納容器へ注入することにより低下させる。</p> <p>炉心損傷後の格納容器冷却操作については、格納容器圧力が最高使用圧力から50kPa低下したことを確認すれば停止する手順としており、大規模な水素燃焼の発生を防止する。また、水素濃度は、可搬型格納容器水素ガス濃度計で計測される水素濃度（ドライ）により継続的に監視を行う運用として、測定による水素濃度が8vol%（ドライ）未満であれば減圧を継続する。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.6.10)</p> <p>また、格納容器内の冷却を目的とした代替格納容器スプレーを行う場合は、格納容器内への注水量の制限があることから、格納容器へスプレーを行っている際に、格納容器内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまで注水されたことを確認すれば代替格納容器スプレートを停止し、格納容器内自然対流冷却のみの冷却とする。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.6.9、1.6.10)</p>	<p>代替格納容器スプレートを再開する。</p> <p>なお、格納容器内自然対流冷却を開始し、中央制御室でC、D—格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差、格納容器圧力及び温度の低下等により、格納容器内が冷却状態であることを確認した場合には、代替格納容器スプレートを停止する。</p> <p>また、代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量、燃料取替用水ピット水位等により格納容器への注水量を把握し、炉心発熱有効長上端位置から 0.5m 下まで注水されたことを格納容器水位等により確認すれば、代替格納容器スプレートを停止する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の対応は、中央制御室にて運転員1名、現場は運転員2名により作業を実施し、所要時間は約45分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.6.9)</p> <p>放射性物質の濃度低下については、代替格納容器スプレー手段を用いて格納容器へスプレーすることにより、格納容器内の圧力及び温度を低下させるとともに粒子状の放射性物質の除去により放射性物質を低減する。さらに、B—格納容器スプレーポンプ（自己冷却）によるよう素除去薬品タンクの薬品を格納容器へ注入することにより低下させる。</p> <p>炉心損傷後の格納容器減圧操作については、格納容器圧力が最高使用圧力から0.05MPa低下したことを確認すれば停止する手順としており、大規模な水素燃焼の発生を防止することができる。また、水素濃度は、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットで計測される水素濃度（ドライ）により継続的に監視を行う運用として、測定による水素濃度が8vol%（ドライ）未満であれば減圧を継続する。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.6.10)</p> <p>格納容器内の冷却を目的とした格納容器スプレーを行う場合は、格納容器内への注水量の制限があることから、格納容器へスプレーを行っている際に、炉心発熱有効長上端位置から 0.5m 下まで注水されたことを確認すれば代替格納容器スプレートを停止し、格納容器内自然対流冷却のみの冷却とする。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.6.11)</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p> <p>運用の相違（差異理由②）</p> <p>設備の相違（差異理由⑫）</p> <p>設備の相違（差異理由⑩）</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレィ</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、恒設代替低圧注水ポンプ、ディーゼル消火ポンプ及びA格納容器スプレィポンプ（自己冷却）により格納容器へスプレィができない場合、可搬式代替低圧注水ポンプにより海水を格納容器へスプレィする手順を整備する。</p> <p>i . 手順着手の判断基準</p> <p>恒設代替低圧注水ポンプによる格納容器へのスプレィが必要となった場合。</p> <p>ii . 操作手順</p> <p>1.6.2.2(1)b.(c)と同様。</p>	<p>【比較表 p. 1.6-53 にて比較】</p> <p>(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレィ</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、代替格納容器スプレィポンプ、B格納容器スプレィポンプ（自己冷却）により格納容器へスプレィができない場合、常用設備であるディーゼル駆動消火ポンプによりろ過水タンク水を格納容器へスプレィする手順を整備する。</p> <p>使用に際しては、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。</p> <p>i . 手順着手の判断基準</p> <p>B格納容器スプレィポンプ（自己冷却）の故障等により、格納容器へのスプレィをB格納容器スプレィ流量等にて確認できない場合かつ、格納容器内自然対流冷却により格納容器内が冷却状態であることを格納容器圧力等で確認できない場合に、格納容器へスプレィするために必要なろ過水タンクの水位が確保されており、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生しておらず、消火用として消火ポンプの必要がない場合。</p> <p>ii . 操作手順</p> <p>1.6.2.2(1)b.(b)ii.と同様。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。</p> <p>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレィ</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、代替格納容器スプレィポンプ、B格納容器スプレィポンプ（自己冷却）、ディーゼル駆動消火ポンプにより格納容器へスプレィできない場合、可搬型大型送水ポンプ車により海水を格納容器へスプレィする手順を整備する。</p> <p>i . 手順着手の判断基準</p> <p>B格納容器スプレィポンプ（自己冷却）の故障等により、格納容器へのスプレィをB格納容器スプレィ流量等にて確認できない場合及び格納容器内自然対流冷却により格納容器内が冷却状態であることを格納容器圧力等で確認できない場合。</p> <p>ii . 操作手順</p> <p>1.6.2.2(1)b.(c)ii.と同様。</p>		<p>運用の相違（差異理由①）</p> <p>設備の相違（差異理由②）</p> <p>設備の相違（差異理由②）</p> <p>設備の相違（差異理由①）</p> <p>記載方針の相違（差異理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
	<p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合に、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、代替格納容器スプレイポンプ、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）、ディーゼル駆動消火ポンプにより格納容器へスプレイできない場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから格納容器へスプレイする手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）の故障等により、格納容器へのスプレイをB-格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合及び格納容器内自然対流冷却により格納容器内が冷却状態であることを格納容器圧力等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要すると判断した場合又は原水槽が使用できない場合に、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.6.2.2(1) b. (d) ii. と同様。</p> <p>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合に、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、代替格納容器スプレイポンプ、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）、ディーゼル駆動消火ポンプにより格納容器へスプレイできない場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から格納容器へスプレイする手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）の故障等により、格納容器へのスプレイをB-格納容器スプレイ流量等にて確認できない場合及び格納容器内自然対流冷却により格納容器内が冷却状態であることを格納容器圧力等で確認できない場合において、海水の取水ができない場合に、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>1.6.2.2(1) b. (e) ii. と同様。</p>		<p>設備の相違（差異理由②）</p> <p>設備の相違（差異理由②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>b. 格納容器内自然対流冷却</p> <p>(a) 大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合に、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、格納容器内の冷却機能が喪失した場合、大容量ポンプ及びA、D格納容器再循環ユニットでの格納容器内自然対流冷却を行う手順を整備する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる冷却に対応している場合に、格納容器圧力が十分低下しない等により放射性物質濃度低減が必要な場合は、代替格納容器スプレィを同時に実施することにより、格納容器内冷却と放射性物質濃度の低下を図る。</p> <p>i . 手順着手の判断基準</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合に、原子炉補機冷却機能が喪失し、原子炉補機冷却水の通水を、原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認できない場合。</p> <p>ii . 操作手順</p> <p>操作手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>c. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順は「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1(3)「溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.3(2)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、</p>	<p>b. 格納容器内自然対流冷却</p> <p>(a) 可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合に、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生し、格納容器内の冷却機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車及びC、D格納容器再循環ユニットでの格納容器内自然対流冷却を行う手順を整備する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる冷却に対応している場合に、格納容器圧力が十分低下しない等により放射性物質濃度低減が必要な場合は、代替格納容器スプレィを同時に実施することにより、格納容器内冷却と放射性物質濃度の低下を図る。</p> <p>i . 手順着手の判断基準</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合。</p> <p>ii . 操作手順</p> <p>操作手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>c. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順は、「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.4.2.1.(3)「溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の対応手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.3「格納容器スプレィのための代替手段及び燃料取替用水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.8「可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順等」にて整備する。</p> <p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替非常用発電機による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、代替非常用発電機への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「代</p>		<p>記載方針の相違</p> <p>・大飯3/4号炉では、「原子炉補機冷却機能が喪失し、原子炉補機冷却水の通水を、原子炉補機冷却水供給母管流量等にて確認できない場合」と原子炉補機冷却機能喪失を確認するための監視計器を記載しているが、泊3号炉では、監視計器一覧に記載している。</p> <p>記載方針の相違（差異理由③）</p> <p>記載方針の相違（差異理由④）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>1. 14. 2. 4 (1) 「空冷式非常用発電装置等への燃料(重油) 補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順及び格納容器圧力計が機能喪失により監視できない場合の格納容器圧力を推定する手順は「1. 15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1. 15. 2 「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>d. 優先順位</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合にサポート系機能喪失により、格納容器内の冷却機能が喪失している場合、継続的な冷却実施の観点及び格納容器内の重要機器の水没を未然に防止する観点から、代替格納容器スプレーよりも格納容器内自然対流冷却による手段を優先する。ただし、格納容器内自然対流冷却の手段では、大容量ポンプを使用するため準備に時間がかかることから、使用を開始するまでの間に格納容器最高使用圧力(392kPa [gage])以上となる場合は、代替格納容器スプレーを行う。</p> <p>(添付資料 1. 6. 10)</p> <p>代替格納容器スプレーの優先順位は、恒設代替低圧注水ポンプ、ディーゼル消火ポンプ、A格納容器スプレーポンプ(自己冷却)、可搬式代替低圧注水ポンプの順で使用する。</p> <p>詳細には、恒設代替低圧注水ポンプによる格納容器へのスプレーが使用できない場合は、ディーゼル消火ポンプを使用する。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。ディーゼル消火ポンプからの格納容器へのスプレー手段を失った場合は、A格納容器スプレーポンプ(自己冷却)を使用する。また、A格納容器スプレーポンプ(自己冷却)が使用できない場合は、可搬式代替低圧注水ポンプにより格納容器へ海水をスプレーする。</p>	<p>替非常用発電機等への燃料補給の手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順及び格納容器圧力が機能喪失により監視できない場合の格納容器内の圧力を推定する手順は、「1. 15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1. 15. 2 「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>d. 優先順位</p> <p>炉心の著しい損傷が発生した場合にサポート系機能喪失により、格納容器内の冷却機能が喪失している場合、継続的な冷却実施の観点及び格納容器内の重要機器の水没を未然に防止する観点から、代替格納容器スプレーよりも格納容器内自然対流冷却による手段を優先する。ただし、格納容器内自然対流冷却の手段では、可搬型大型送水ポンプ車を使用するため準備に時間がかかることから、使用を開始するまでの間に格納容器最高使用圧力(0. 283MPa[gage])を超える場合は、代替格納容器スプレーを使用する。</p> <p>(添付資料 1. 6. 11)</p> <p>代替格納容器スプレーの優先順位は、代替格納容器スプレーポンプ、B一格納容器スプレーポンプ(自己冷却)、ディーゼル駆動消火ポンプ、可搬型大型送水ポンプ車の順で使用する。</p> <p>詳細には、代替格納容器スプレーポンプによる格納容器へのスプレーが使用できない場合は、B一格納容器スプレーポンプ(自己冷却)を使用する。B一格納容器スプレーポンプ(自己冷却)からの格納容器へのスプレー手段を失った場合は、ディーゼル駆動消火ポンプを使用する。ただし、重大事故等対処に悪影響を与える火災が発生していないことを確認して使用する。また、ディーゼル駆動消火ポンプが使用できない場合は、可搬型大型送水ポンプ車により格納容器へ淡水又は海水をスプレーする。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は、使用準備に時間を要することから、B一格納容器スプレーポンプ(自己冷却)による格納容器へのスプレー手段を失った場合に消火設備による代替格納容器スプレーと同時に準備を開始する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレーのための水源は、水源の切替による注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ビットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タ</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p> <p>記載方針の相違 (差異理由⑤)</p> <p>設備の相違 (差異理由⑧)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>運用の相違 (差異理由①)</p> <p>設備の相違 (差異理由②)</p> <p>運用の相違 (差異理由①)</p> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消火設備は消火活動に優先して使用する手順に相違なし。 <p>設備の相違 (差異理由②)</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊3号炉は、可搬型設備は準備に時間を要することから、恒設設備の手段と同時に準備を開始することを記載している。 <p>設備の相違 (差異理由②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水から直接格納容器へスプレーできることから、すべての水源を使用した手順の優先順位を記載している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.6.14 図に示す。</p>	<p>ンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.6.20 図に示す。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>1.6.2.3 原子炉及び格納容器内への注水時における格納容器内の水位及び注水量の管理</p> <p>原子炉及び格納容器へ注水を行う場合、重要機器及び重要計器の水没を防止するため、格納容器内の水位及び注水量を管理する必要がある。</p> <p>原子炉及び格納容器への注水開始から格納容器再循環サンプ水位計（広域）の上限である総注水量約3,800m³までは、格納容器再循環サンプ水位計（広域）にて水位を把握するとともに、高圧注入流量計、余熱除去流量計等の流量と注水時間から算出した原子炉への注水量と、A格納容器スプレィ流量計又はAM用消火水積算流量計、恒設代替低圧注水積算流量計等の積算値により算出した格納容器注水量の和から総注水量を算出し把握する。その後の格納容器内冷却時に注水を停止する総注水量は、格納容器内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまで注水されたことを、原子炉注水量と格納容器注水量の和から総注水量を原子炉格納容器水位計等にて把握する。</p> <p>また、残存デブリ冷却時に注水を停止する総注水量についても同様に、格納容器内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまで注水されたことを、原子炉注水量と格納容器注水量の和から総注水量を原子炉格納容器水位計等にて把握する。</p> <p>格納容器内へ注水時漏えいがあった場合は、漏えい先のタンク水位やサンプ水位等により格納容器外への漏えいを確認し、漏えい箇所の隔離を行う。また、格納容器内への注水量と格納容器外への漏えい量を比較し格納容器内の水位を推定する。</p> <p>格納容器外への漏えいには、注水ラインから他の系統への漏えい、格納容器貫通配管又は貫通部から原子炉周辺建屋又はアニュラスへの漏えい等が考えられる。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.6.12）</p>	<p>1.6.2.3 炉心及び格納容器内への注水時における格納容器内の水位及び注水量の管理</p> <p>炉心及び格納容器へ注水を行う場合、重要機器及び重要計器の水没を防止するため、格納容器内の水位及び注水量を管理する必要がある。</p> <p>炉心及び格納容器への注水開始から格納容器再循環サンプ水位（広域）の上限である総注水量約2,300m³までは、格納容器再循環サンプ水位（広域）にて水位を把握するとともに、高圧注入流量、低圧注入流量等の流量と注水時間から算出した炉心への注水量と、B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（AM用）又は、AM用消火水積算流量、代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量の積算値により算出した格納容器注水量の和から総注水量を算出し把握する。その後の格納容器内冷却時に注水を停止する総注水量は、炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを、炉心注水量と格納容器注水量の和から総注水量を格納容器水位等にて把握する。</p> <p>また、残存デブリ冷却時に注水を停止する総注水量についても同様に、炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを、炉心注水量と格納容器注水量の和から総注水量を格納容器水位等にて把握する。</p> <p>格納容器内へ注水時漏えいがあった場合は、漏えい先のタンク水位やサンプ水位等により格納容器外への漏えいを確認し、漏えい箇所の隔離を行う。また、格納容器内への注水量と格納容器外への漏えい量を比較し格納容器内の水位を推定する。</p> <p>格納容器外への漏えいには、注水ラインから別系統への漏えい、格納容器貫通配管又は貫通部から原子炉建屋又はアニュラスへの漏えい等が考えられる。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料 1.6.14）</p>		<p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント固有の設計により格納容器再循環サンプ水位（広域）の上限までの注水量が異なる。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>1.6.2.4 燃料の補給手順等</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ、送水車を運転する場合には、燃料補給が必要となる。</p> <p>重大事故等対処設備である燃料油貯蔵タンク又は重油タンクからタンクローリーへ給油し、電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへ補給する手順を整備する。</p> <p>また、軽油ドラム缶から送水車に補給する手順を整備する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料1.6.8）</p> <p>(1) 電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給</p> <p>燃料油貯蔵タンク又は重油タンクからタンクローリーにより、電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプに補給する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプを運転した場合に、各設備の燃料が規定油量以上あることを確認した上で運転開始後、定格負荷運転時における燃料補給作業着手時間^{※5}に達した場合。</p> <p>※5：各設備の燃料補給作業着手時間及び給油間隔の目安は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）：運転開始後約7.5時間後（その後約2.0時間ごとに補給。）。 ・大容量ポンプ：運転開始後に燃料補給準備を開始する（その後約2.0時間ごとに補給。）。 <p>b. 操作手順</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給の手順の概要は以下のとおり。</p> <p>また、概略図を第1.6.15図に、タイムチャートを第1.6.16図に、アクセスルート図を第1.6.17図に示す。</p>	<p>【比較のため技術的能力1.12より転記】</p> <p>1.12.2.4 可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給の手順等</p> <p>可搬型大容量海水送水ポンプ車を運転する場合には、燃料補給が必要となる。（燃料は軽油）</p> <p>重大事故等対処設備であるディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへ給油し、可搬型タンクローリーにより可搬型大容量海水送水ポンプ車へ燃料補給する手順を整備する。</p> <p style="text-align: right;">（添付資料1.12.22）</p> <p>(1) 可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーにより、可搬型大容量海水送水ポンプ車に燃料補給する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>可搬型大容量海水送水ポンプ車の運転が必要と判断した場合。</p> <p>【再掲（1.12.2.4 (1) b. ⑤より）】</p> <p>※2 定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔の目安は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型大容量海水送水ポンプ車：運転開始後速やかに（その後約2時間ごとに補給） <p>b. 操作手順</p> <p>可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給の手順の概要は以下のとおり。</p> <p>また、概略系統を第1.12.16図に、タイムチャートを第1.12.17図に、アクセスルート図を第1.12.18図に示す。</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p> <p>記載方針の相違（差異理由④）</p> <p>設備の相違（差異理由①、②、⑤、⑦） 記載方針の相違（差異理由⑤）</p> <p>設備の相違（差異理由①、②、⑤） 手順名称の相違 ・給油対象設備は異なるがタンクローリーを使用した燃料補給手順であることに相違なし。</p> <p>運用の相違（差異理由③）</p> <p>記載表現の相違 ・大飯3/4号炉も定格負荷運転時の燃料消費率により燃料補給を行う手順に相違なし。</p> <p>運用の相違（差異理由③）</p> <p>設備の相違（差異理由①、②） 手順名称・記載表現の相違 ・タンクローリーを使用した燃料補給手順であることに相違なし。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき緊急安全対策要員に、燃料油貯蔵タンク又は重油タンクからタンクローリーによる電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）等への燃料補給を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、現場で燃料油貯蔵タンク又は重油タンクから電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）等へ燃料補給準備を行う。</p> <p>③ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリーを保管エリアから燃料油貯蔵タンク又は重油タンク付近に移動させる。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリー給油口に給油用ホースを接続する。</p> <p>⑤ 緊急安全対策要員は、現場で燃料油貯蔵タンク蓋を開操作し、給油用ホース端を燃料油貯蔵タンクの油面レベル以下まで下げる。重油タンクは重油抜き取り用取出口に接続する。</p> <p>⑥ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリー給油ポンプを起動し、タンクローリーの燃料タンク計でタンクが満杯となれば給油ポンプを停止する。</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリー給油口から給油用ホースを取り外す。</p> <p>⑧ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリーを電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）等の近傍に移動させる。</p> <p>⑨ 緊急安全対策要員は、現場で電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）等の給油口に給油用ホースを接続する。</p> <p>⑩ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリーの排出弁を開操作し、タンクローリーからの給油を開始する。</p> <p>⑪ 緊急安全対策要員は、現場でタンクが満杯になれば、給油を停止し、排出弁を開操作した後、給油用ホースを取り外す。</p> <p>⑫ 緊急安全対策要員は、現場でタンクローリーの油量を確認し、以降⑤から⑪を繰り返し燃料の補給を実施する。</p> <p>⑬ 緊急安全対策要員は、発電所対策本部長にタンクローリーによる電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）等への燃料補給が完了したことを報告する。</p>	<p>【比較のため技術的能力 1.12 より転記】</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長にディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給を依頼する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、事務局員にディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給を指示する。</p> <p>③ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを保管エリアから所定の位置に移動させる。</p> <p>④ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー吐出口のキャップをはずし、汲み上げ用ホースを接続するとともに、切替弁を「吸込み」側に切替え、タンクの底弁を開放する。</p> <p>⑤ 事務局員は、現場でディーゼル発電機燃料油貯油槽の防護板及び給油口を開放する。</p> <p>⑥ 事務局員は、現場で汲み上げ用ホース端をディーゼル発電機燃料油貯油槽の給油口に挿入する。</p> <p>⑦ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、タンクローリー吐出弁を開とし、汲み上げを開始する。</p> <p>⑧ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油面計でタンクが満杯となれば給油ポンプを停止し、吐出弁を閉とする。</p> <p>⑨ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーから汲み上げ用ホースを取り外し、吐出口のキャップを取り付けるとともに、切替弁を「吐出」側に切替え、タンクの底弁を閉止する。</p> <p>⑩ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを可搬型大容量海水送水ポンプ車の近傍に移動させる。</p> <p>⑪ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、タンクの底弁を開放するとともに出口弁を開とする。</p> <p>⑫ 事務局員は、現場で定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間又は燃料補給間隔^{※2}を目安に給油ガンにて可搬型大容量海水送水ポンプ車へ燃料補給を実施する。</p> <p>⑬ 事務局員は、現場で可搬型大容量海水送水ポンプ車の燃料タンクが満杯となれば、燃料補給を停止し、給油ガンを取り外す。</p> <p>⑭ 事務局員は、発電所対策本部長に可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給が完了したことを報告する。</p>		<p>設備の相違（差異理由⑤）</p> <p>記載箇所の相違 ・大飯 3/4 号炉は手順着手の判断基準に燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔を記載している。</p> <p>設備の相違（差異理由①、②）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は現場にて電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）は緊急安全対策要員2名により作業を実施し、所要時間は約106分と想定している。また、大容量ポンプについては、現場にて緊急安全対策要員2名により作業を実施し、所要時間は約106分と想定している。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）の燃料消費率は、28%負荷で約49.2ℓ/hであり、起動から枯渇までの時間は約10時間と想定しており枯渇までに燃料（重油）補給を実施する。</p> <p>また、大容量ポンプの燃料消費率は、100%負荷で約310ℓ/hであり、起動から枯渇までの時間は約3.1時間を想定しており枯渇までに燃料（重油）補給を実施する。</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料（重油）の備蓄量として「1.14 電源の確保に関する手順等」に示す燃料油貯蔵タンクの備蓄量（150kℓ以上（1基当たり）、4基）及び重油タンクの備蓄量（160kℓ以上（1基当たり）、4基）を管理する。</p> <p>ただし、タンクローリーでの給油を想定する場合の使用可能量は1,096kℓである。</p> <p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。燃料油貯蔵タンク蓋等を速やかに作業ができるよう作業場所近傍に使用工具を配備する。周囲温度は外気温度と同程度である。</p>	<p>【比較のため技術的能力1.12より転記】</p> <p>⑮ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油量を確認し、定格負荷運転時の燃料補給間隔^{※2}を目安に以降⑬から⑮を繰り返し燃料の補給を実施する。</p> <p>※2 定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔の目安は以下のとおり。</p> <p>・可搬型大容量海水送水ポンプ車：運転開始後速やかに（その後約2時間ごとに補給）</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は、現場にて事務局員2名により作業を実施し、所要時間は約2時間と想定する。</p> <p>可搬型大容量海水送水ポンプ車の燃料消費率は、100%負荷で約310ℓ/hであり、起動から枯渇までの時間は約3.1時間と想定しており枯渇までに燃料補給を実施する。</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料の備蓄量として「1.14 電源の確保に関する手順等」に示すディーゼル発電機燃料油貯槽4基合計で540kℓ以上を管理する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。防護板の開放を速やかに実施できるよう可搬型タンクローリーに使用工具を配備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。 （添付資料1.12.19, 1.12.20, 1.12.21）</p> <p>(2) ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーにより可搬型大容量海水送水ポンプ車に燃料補給する。</p>	<p>記載箇所の相違</p> <p>・大飯3/4号炉は手順着手の判断基準に燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔を記載している。</p> <p>設備の相違（差異理由①、②）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由①、②）</p> <p>記載方針の相違（差異理由⑤）</p> <p>設備の相違（差異理由③）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>・泊3号炉のディーゼル発電機燃料油貯槽の給油口は防護板で覆われている。</p> <p>また、使用工具の配備場所が異なるが、作業場所近傍に配備していることに相違なし。</p> <p>設備の相違（差異理由⑥）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
	<p>【比較のため技術的能力 1.12より転記】</p> <p>a. 手順着手の判断基準 可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給が必要な場合に、可搬型タンクローリーによるディーゼル発電機燃料油貯油槽からの燃料汲み上げができない場合。</p> <p>b. 操作手順 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給の手順の概要は以下のとおり。 また、概略系統を第 1.12.19 図に、タイムチャートを第 1.12.20 図に、アクセスルート図を第 1.12.18 図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、発電課長（当直）及び事務局員にディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給を指示する。</p> <p>② 発電課長（当直）は、運転員にディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給を指示する。</p> <p>③ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを保管エリアから所定位置に移動させる。</p> <p>④ 事務局員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプ出ロラインに仮設ホースを接続し、可搬型タンクローリー設置箇所まで敷設する。</p> <p>⑤ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへ燃料を汲み上げるための系統構成を実施する。</p> <p>⑥ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプの給電準備を実施する。</p> <p>⑦ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーのマンホールを開放し、仮設ホース先端のドロップパイプを挿入する。</p> <p>⑧ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプを起動し、燃料の汲み上げを開始する。</p> <p>⑨ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油面計でタンクが満杯となれば、運転員にディーゼル発電機燃料油移送ポンプの停止を依頼する。</p> <p>⑩ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプを停止する。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
	<p>【比較のため技術的能力1.12より転記】</p> <p>⑪ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーのマンホールからドロップパイプを引き抜き、マンホールを閉止する。</p> <p>⑫ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを可搬型大容量海水送水ポンプ車の近傍に移動させる。</p> <p>⑬ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、タンクの底弁を開放するとともに出口弁を開とする。</p> <p>⑭ 事務局員は、現場で定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間又は燃料補給間隔^{※3}を目安に給油ガンにて可搬型大容量海水送水ポンプ車へ燃料補給を実施する。</p> <p>⑮ 事務局員は、現場で可搬型大容量海水送水ポンプ車の燃料タンクが満杯となれば、燃料補給を停止し、給油ガンを取り外す。</p> <p>⑯ 事務局員は、発電所対策本部長に可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>⑰ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油量を確認し、定格負荷運転時の燃料補給間隔^{※3}を目安に以降⑥から⑮を繰り返し燃料の補給を実施する。</p> <p>※3 定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔の目安は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型大容量海水送水ポンプ車：運転開始後速やかに（その後約2時間毎に補給） <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は、現場にて事務局員2名及び運転員1名により作業を実施し、所要時間は約3時間と想定する。</p> <p>可搬型大容量海水送水ポンプ車の燃料消費率は、100%負荷で約310L/hであり、起動から枯渇までの時間は約3.1時間と想定しており枯渇までに燃料補給を実施する。</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料の備蓄量として「1.14電源の確保に関する手順等」に示すディーゼル発電機燃料油貯油槽4基合計で540kL以上を管理する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。</p> <p>(添付資料 1.12.19, 1.12.20, 1.12.21)</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>(2) 送水車への燃料補給</p> <p>軽油ドラム缶から送水車へ補給する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 送水車を運転した場合に、燃料が規定油量以上にあることを確認した上で運転開始後、定格負荷運転時における燃料補給作業着手時間の目安*⁶に達した場合。</p> <p>※6：送水車の燃料補給作業着手時間及び給油間隔の目安時間は以下のとおり。 ・送水車本体：送水車起動を判断すれば燃料補給準備を開始する（その後約3時間ごとに補給。） ・水中ポンプ用発電機：送水車起動を判断すれば燃料補給準備を開始する（その後約3時間ごとに補給。）</p>	<p>【比較のため技術的能力1.12より転記】</p> <p>(3) 優先順位 可搬型タンクローリーを使用した燃料補給は、操作が容易であること及び短時間での燃料補給が可能であるため優先で使用する。可搬型タンクローリーによる燃料汲み上げができない場合は、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給を実施する。 以上の対応手順のフローチャートを第1.12.21図に示す。</p> <p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>1.13.2.8 可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順等</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を運転する場合には、燃料補給が必要となる。（燃料は軽油） 重大事故等対処設備であるディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへ給油し、可搬型タンクローリーにより可搬型大型送水ポンプ車へ燃料補給する手順を整備する。 （添付資料1.13.26）</p> <p>(1) 可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーにより、可搬型大型送水ポンプ車に燃料補給する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 可搬型大型送水ポンプ車の運転が必要と判断した場合。</p> <p>【再掲（1.13.2.8（1）b.⑬より）】</p> <p>※2 定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔の目安は以下のとおり。 ・可搬型大型送水ポンプ車：運転開始後4時間（その後約4時間ごとに補給）</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p> <p>設備の相違（差異理由⑥） ・泊3号炉は、可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ手順をルート毎に整備しているため、2つの手順の優先順位を整理している。</p> <p>記載方針の相違（差異理由⑤）</p> <p>手順名称・記載表現の相違 ・可搬型の送水ポンプ車への燃料補給手順であることに相違なし。</p> <p>設備の相違（差異理由⑦）</p> <p>記載表現の相違 ・大飯3/4号炉も定格負荷運転時の燃料消費率により燃料補給を行う手順に相違なし。 設備の相違 ・大飯3/4号炉は送水車用の水中ポンプには専用の発電機が必要。 ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車用水中ポンプの駆動源は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されている発電機であり、水中ポンプ専用の発電機は不要。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>b. 操作手順</p> <p>送水車（送水車本体及び水中ポンプ用発電機）への燃料補給の手順は以下のとおり。また、タイムチャートを第1.6.16図に、アクセスルートを図1.6.17図に示す。</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき緊急安全対策要員に送水車（送水車本体及び水中ポンプ用発電機）への燃料補給を指示する。</p> <p>② 緊急安全対策要員は、現場で送水車（送水車本体及び水中ポンプ用発電機）へ燃料補給の準備を行う。</p>	<p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>b. 操作手順</p> <p>可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順の概要は以下のとおり。また、概略系統を第1.13.44図に、タイムチャートを第1.13.45図に、アクセスルートを図1.13.46図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、発電所対策本部長にディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給を依頼する。</p> <p>② 発電所対策本部長は、事務局員にディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給を指示する。</p> <p>③ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを保管エリアから所定の位置に移動させる。</p> <p>④ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー吐出口のキャップをはずし、汲み上げ用ホースを接続するとともに、切替弁を「吸込み」側に切替え、タンクの底弁を開放する。</p> <p>⑤ 事務局員は、現場でディーゼル発電機燃料油貯油槽の防護板及び給油口を開放する。</p> <p>⑥ 事務局員は、現場で汲み上げ用ホース端をディーゼル発電機燃料油貯油槽の給油口に挿入する。</p> <p>⑦ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、タンクローリー吐出弁を開とし、汲み上げを開始する。</p> <p>⑧ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油面計でタンクが満杯となれば給油ポンプを停止し、吐出弁を閉とする。</p> <p>⑨ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーから汲み上げ用ホースを取り外し、吐出口のキャップを取り付けるとともに、切替弁を「吐出」側に切替え、タンクの底弁を閉止する。</p> <p>⑩ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを可搬型大型送水ポンプ車の近傍に移動させる。</p> <p>⑪ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、タンクの底弁を開放するとともに出口弁を開とする。</p>		<p>取水に必要な駆動源に給油する手順を整備していることに相違なし。</p> <p>手順名称・記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 設備は異なるが可搬型送水ポンプ車への燃料補給手順であることに相違なし。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊3号炉は可搬型大型送水ポンプ車への給油の概略系統を図示している。 <p>設備の相違（差異理由⑦）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>③ 緊急安全対策要員は、現場で車両を燃料保管場所付近に移動させ、燃料保管場所の軽油ドラム缶から車両積載の軽油ドラム缶へ給油する。</p> <p>④ 緊急安全対策要員は、現場で車両を送水車付近に移動させる。</p> <p>⑤ 緊急安全対策要員は、現場で静電気対策を実施し軽油ドラム缶から送水車（送水車本体及び水中ポンプ用発電機）へ燃料補給を行う。</p> <p>⑥ 緊急安全対策要員は、現場で油量を確認し、以降③から⑤を繰り返し燃料の補給を実施する。</p> <p>⑦ 緊急安全対策要員は、発電所対策本部長に燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は現場にて緊急安全対策要員2名により作業を実施し、所要時間は約100分と想定している。 送水車本体の燃料消費率は、約21～740/hであり、起動から枯渇までの時間は約5.4時間と想定しており枯渇までに燃料（軽油）補給を実施する。</p> <p>水中ポンプ用発電機の燃料消費率は、約8.50/hであり、起動から枯渇までの時間は約20時間と想定しており枯渇までに燃料（軽油）補給を実施する。</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料（軽油）の備蓄量として21,0000以上を管理する。</p>	<p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>⑫ 事務局員は、現場で定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間又は燃料補給間隔^{※2}を目安に給油ガンにて可搬型大型送水ポンプ車へ燃料補給を実施する。</p> <p>⑬ 事務局員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車の燃料タンクが満杯となれば、燃料補給を停止し、給油ガンを取り外す。</p> <p>⑭ 事務局員は、発電所対策本部長に可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>⑮ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油量を確認し、定格負荷運転時の燃料補給間隔^{※2}を目安に以降③から⑬を繰り返し燃料の補給を実施する。 ※2 定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔の目安は以下のとおり。 ・可搬型大型送水ポンプ車：運転開始後4時間（その後約4時間ごとに補給）</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は、現場にて事務局員2名により作業を実施し、所要時間は約2時間と想定する。 可搬型大型送水ポンプ車の燃料消費率は、100%負荷で約0.072kL/hであり、起動から燃料の枯渇までの時間は約5.5時間と想定しており、枯渇までに燃料補給を実施する。</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料の備蓄量として「1.14 電源の確保に関する手順等」に示すディーゼル発電機燃料油貯油槽4基合計で540kL以上を管理する。</p>	<p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯 3/4 号炉は負荷に応じた送水車の燃料消費率を記載している。 <p>設備の相違（差異理由⑦）</p> <p>記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯 3/4 号炉は手順着手の判断基準に燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔を記載している。 <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯 3/4 号炉は負荷に応じた送水車の燃料消費率を記載。 ・泊 3 号炉は100%負荷時の燃料消費率を記載している。燃料が枯渇する前に給油する手順に相違なし。 <p>記載方針の相違（差異理由⑤）</p> <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯 3/4 号炉は送水車用の水中ポンプには専用の発電機が必要。 ・泊 3 号炉の可搬型大型送水ポンプ車用の水中ポンプの駆動源は可搬型大型送水ポンプ車内蔵の発電機であり、水中ポンプ専用の発電機は必要なし。取水に必要な駆動源に給油する手順を整備していることに相違なし。 <p>設備の相違（差異理由⑬）</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>円滑に作業できるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。周囲温度は外気温度と同程度である。</p>	<p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。防護板の開放を速やかに実施できるように可搬型タンクローリーに使用工具を配備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。 （添付資料1.13.24）</p> <p>（2）ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給 ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーにより可搬型大型送水ポンプ車に燃料補給する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給が必要な場合に、可搬型タンクローリーによるディーゼル発電機燃料油貯油槽からの燃料汲み上げができない場合。</p> <p>b. 操作手順 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順の概要は以下のとおり。 また、概略系統を第1.13.47図に、タイムチャートを第1.13.48図に、アクセスルートを示す。</p> <p>① 発電所対策本部長は、手順着手の判断基準に基づき、発電課長（当直）及び事務局員にディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給を指示する。</p> <p>② 発電課長（当直）は、運転員にディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給を指示する。</p> <p>③ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを保管エリアから所定位置に移動させる。</p> <p>④ 事務局員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプ出口ラインに仮設ホースを接続し、可搬型タンクローリー設置箇所まで敷設する。</p> <p>⑤ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへ燃料を汲み上げるための系統構成を実施する。</p> <p>⑥ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプの給電準備を実施する。</p>		<p>設備の相違（差異理由⑦）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備の相違（差異理由⑥）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
	<p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>⑦ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーのマンホールを開放し、仮設ホース先端のドロップパイプを挿入する。</p> <p>⑧ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプを起動し、燃料の汲み上げを開始する。</p> <p>⑨ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油面計でタンクが満杯となれば、運転員にディーゼル発電機燃料油移送ポンプの停止を依頼する。</p> <p>⑩ 運転員は、現場でディーゼル発電機燃料油移送ポンプを停止する。</p> <p>⑪ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーのマンホールからドロップパイプを引き抜き、マンホールを閉止する。</p> <p>⑫ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーを可搬型大型送水ポンプ車の近傍に移動させる。</p> <p>⑬ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリー給油ポンプを起動し、タンクの底弁を開放するとともに出口弁を開とする。</p> <p>⑭ 事務局員は、現場で定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間又は燃料補給間隔^{※3}を目安に給油ガンにて可搬型大型送水ポンプ車へ燃料補給を実施する。</p> <p>⑮ 事務局員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車の燃料タンクが満杯となれば、燃料補給を停止し、給油ガンを取り外す。</p> <p>⑯ 事務局員は、発電所対策本部長に可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給が完了したことを報告する。</p> <p>⑰ 事務局員は、現場で可搬型タンクローリーの油量を確認し、定格負荷運転時の燃料補給間隔^{※3}を目安に以降⑮から⑰を繰り返し燃料の補給を実施する。</p> <p>※3 定格負荷運転時の燃料補給作業着手時間及び燃料補給間隔の目安は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型大型送水ポンプ車：運転開始後4時間（その後約4時間ごとに補給） <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の対応は、現場にて事務局員2名及び運転員1名により作業を実施し、所要時間は約3時間と想定する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車の燃料消費率は、100%負荷で約0.072kl/hであり、起動から燃料の枯渇までの時間は約5.5時間と想定しており、枯渇までに燃料補給を実施する。</p>	<p>追而</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
	<p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>なお、重大事故等時7日間運転継続するために必要な燃料の備蓄量として「1.14 電源の確保に関する手順等」に示すディーゼル発電機燃料油貯油槽4基合計で540kL以上を管理する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は外気温度と同程度である。 （添付資料1.13.25）</p> <p>(3) 優先順位</p> <p>可搬型タンクローリーを使用した燃料補給は、操作が容易であること及び短時間での燃料補給が可能であるため優先で使用する。可搬型タンクローリーによる燃料汲み上げができない場合は、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給を実施する。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第1.13.49図に示す。</p>		<p>設備の相違（差異理由⑥）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は、可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ手順をルート毎に整備しているため、2つの手順の優先順位を整理している。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉		女川発電所2号炉		差異理由
<p>第1.6.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (炉心損傷前のサポート系機能喪失時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{※1} 又は原子炉機械の動力供給	代特格納容器スプレイ	格納容器圧注水ポンプ	a	格納容器圧注水ポンプを用いた代特格納容器スプレイの手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			型内式非常用発電機 ^{※2} 燃料取替用水ピット 復水ピット 燃料補給タンク ^{※3} 重油タンク ^{※4} タンクローリー ^{※5}			
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{※1} 又は原子炉機械の動力供給	代特格納容器スプレイ	ディーゼル吸入ポンプ	a	清水ポンプを用いた代特格納容器スプレイの手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N ₂ 、2次水タンク A格納容器スプレイポンプ(自己供給) 燃料取替用水ピット 可搬式代替圧注水ポンプ ^{※6} 電送車(可搬式代替圧注水ポンプ用) 仮設積込式水櫃 送水車			
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{※1} 又は原子炉機械の動力供給	代特格納容器スプレイ	格納容器再循環ユニット	ab	格納容器再循環ユニットを用いた格納容器内自然対流冷却の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用) ^{※7} 大容量ポンプ ^{※8} 燃料補給タンク ^{※3} 重油タンク ^{※4} タンクローリー ^{※5}			
<p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※3：2台の型内非常用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※4：可搬式代替圧注水ポンプにより格納容器にスプレイする場合等は専水スプレイする。 ※5：手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を抑制するための手順等」にて整備する。 ※6：大容量ポンプの燃料供給に使用する。 ※7：重大事故等対策において用いる設備の分類 ※8：重大事故等対策において用いる設備の分類</p>						
<p>第1.6.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (炉心損傷前のサポート系機能喪失時)</p>						
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順の分類
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{※1} 又は原子炉機械の動力供給	代特格納容器スプレイ	代特格納容器スプレイポンプ	a	代特格納容器スプレイポンプを用いた代特格納容器スプレイの手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			代替非常用発電機 ^{※1} 燃料取替用水ピット 補助給水ピット ディーゼル発電機燃料供給ポンプ ^{※2} 可搬型タンクローリー ^{※3} ディーゼル発電機燃料供給ポンプ ^{※2} ※7 B一格納容器スプレイポンプ(自己供給) 燃料取替用水ピット ディーゼル駆動消火ポンプ 5.0MWタンク 可搬型大型送水ポンプ ^{※4} 可搬型大型送水ポンプ車 代替給水ピット 可搬型大型送水ポンプ車 原水櫃 ^{※6} 2次水純水タンク ^{※6} ろ過水タンク ^{※6}			
サポート系機能喪失時	全交流動力電源 ^{※1} 又は原子炉機械の動力供給	代特格納容器スプレイ	格納容器再循環ユニット	a, b	格納容器再循環ユニットを用いた格納容器内自然対流冷却の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			C、D一格納容器再循環ユニット ^{※4} 可搬型大型送水ポンプ ^{※4} 可搬型温度計測装置 ^{※4} ディーゼル発電機燃料供給ポンプ ^{※5} 可搬型タンクローリー ^{※5} ディーゼル発電機燃料供給ポンプ ^{※5} ※7			
<p>※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。 ※2：代替非常用発電機の燃料供給に使用する。燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により原水を格納容器へスプレイする。 ※4：手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を抑制するための手順等」にて整備する。 ※5：可搬型大型送水ポンプ車の燃料供給に使用する。燃料補給の手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。 ※6：原水櫃への供給は、2次水純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。 ※7：ディーゼル発電機燃料供給ポンプは、可搬型タンクローリーによるディーゼル発電機燃料供給ポンプからの燃料汲み上げができない場合に使用する。 ※8：重大事故等対策において用いる設備の分類 a：当該条に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備</p>						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

第1.6.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (炉心損傷後のサポート系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類		
サポート系機能喪失時	全交流動力電源* 又は 原子炉機械冷却水設備	代 替 機 納 容 器 ス プ レ イ	恒設代替用注水ポンプ	a,b	恒設代替用注水ポンプを用いた代替機納容器スプレイの手順	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書		
			非常用非常用発電機**					
			燃料取扱用ホット					
			燃料取扱用ホット	a	燃料取扱用ホット SAR**	可動代替用注水ポンプによる 格納容器スプレイ 手順の手順	SAR**	
			可動代替用注水ポンプ**					
			電源室 (可動代替用注水ポンプ用)					
			恒設恒設式水櫃					
			送水車					
			燃料取扱用タンク***					
			重油タンク***					
			タンクローリー***					
			軽油ドラム**					
			ディーゼル機大ポンプ	多 様 性 機 械 設 備	過大ポンプを用いた 代替機納容器スプレイ の手順			炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
			N.0.2送水タンク		△格納容器スプレイ ポンプ(自己冷却 を有した) を用いた 代替機納容器スプレイ の手順			炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書
			A格納容器スプレイポンプ (自己冷却)		格納容器スプレイポンプ 自己冷却用機軸の手順			SAR**
燃料取扱用ホット	重 大 事 故 等 対 処 設 備	燃料取扱用ホット	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書					
よう油除油薬品タンク								
A、D格納容器再循環ユニット**		格納容器再循環ユニットを用いた格納容器内自然対流冷却の手順	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書					
格納容器内自然対流冷却	重 大 事 故 等 対 処 設 備	可動冷却度制御装置 (格納容器再循環ユニット入口 温度/出口温度(SA)用)**	格納容器再循環ユニットを用いた格納容器内自然対流冷却の手順	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転手順書				
大容量ポンプ**		大容量ポンプによる 原子炉機械冷却水 送水の手順	SAR**					
燃料取扱用タンク**								
燃料取扱用タンク**								
タンクローリー**								

*1：「大飯発電所」重大事故等発生時に用いる原子炉冷却の確保のための活動に関する手順。
 *2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：可動代替用注水ポンプによる格納容器スプレイする場合は送水スプレイする。
 *4：非常用非常用発電機と燃料供給に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *5：電源室(可動代替用注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。
 *6：送水車(燃料供給に使用する)の燃料供給に使用する。
 *7：手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を防止するための手順等」にて整備する。
 *8：大容量ポンプの燃料供給に使用する。
 *9：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

第1.6.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順

(炉心損傷後のサポート系機能喪失時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類				
サポート系機能喪失時	全交流動力電源*1 又は 原子炉機械冷却水設備	代 替 機 納 容 器 ス プ レ イ	代替機納容器スプレイポンプ	重 大 事 故 等 対 処 設 備	a, b	全交流動力電源喪失時に 対応する手順等				
			代替非常用発電機 *1							
			燃料取扱用ホット							
			燃料取扱用ホット	a	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転 手順書					
			ディーゼル発電機燃料供給設備 *2							
			可動タンクローリー *2							
			ディーゼル発電機燃料供給送ポンプ *2 *7	a						
			格納容器スプレイポンプ (自己冷却)	主 機 機 械 設 備			燃料取扱用ホット	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転 手順書		
			よう油除油薬品タンク							
			ディーゼル機大ポンプ							
			ろ過水タンク	重 大 事 故 等 対 処 設 備			可動大型送水ポンプ車 *3		炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転 手順書	
			可動大型送水ポンプ車							
			燃料取扱用ホット							
			可動大型送水ポンプ車 取水槽 *6	重 大 事 故 等 対 処 設 備			2次送水タンク *6			炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転 手順書
			ろ過水タンク *6							
C、D-格納容器再循環ユニット *4										
可動大型送水ポンプ車 *4	重 大 事 故 等 対 処 設 備	可動冷却度制御装置 *4	炉心の著しい損傷が発生した場合に 対応する運転 手順書							
ディーゼル発電機燃料供給設備 *5										
可動タンクローリー *5										
ディーゼル発電機燃料供給送ポンプ *5 *7	a									

*1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：代替非常用発電機の燃料供給に使用する。燃料供給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順」にて整備する。
 *3：可動大型送水ポンプ車により取水を格納容器へスプレイする。
 *4：手順は「1.7 原子炉格納容器の過圧保護を防止するための手順等」にて整備する。
 *5：可動大型送水ポンプ車の燃料供給に使用する。燃料供給の手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 *6：取水槽への供給は、2次送水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。
 *7：ディーゼル発電機燃料供給送ポンプは、可動タンクローリーによるディーゼル発電機燃料供給設備からの燃料汲み上げができない場合に使用する。
 *8：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉

第1.6.5表 重大事故等対処に係る監視計器

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

監視計器一覧（1/10）

対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却		
(a) A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		原子炉圧力容器内の圧力
		原子炉圧力容器内の水位
	操作	原子炉格納容器内の水位
		原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内への注水量
b. 代替格納容器スプレイ		
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度
		原子炉圧力容器内の圧力
		原子炉圧力容器内の水位
		原子炉格納容器内の水位
		原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内への注水量
	操作	水源の確保
		原子炉格納容器内の温度
		原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内の水位
		原子炉格納容器内への注水量
		水源の確保

泊発電所3号炉

第1.6.5表 重大事故等対処に係る監視計器

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

監視計器一覧（1/19）

対応手段	重大事故等の 対応に必要な 監視項目	監視計器
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却		
(a) C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内への注水量
		水源の確保
	操作	原子炉格納容器内の温度
		原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内への注水量
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ		
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内への注水量
		水源の確保
		原子炉格納容器内の温度
		原子炉格納容器内の圧力
		原子炉格納容器内への注水量
	操作	電源
		水源の確保
		格納容器内温度計
		格納容器圧力計（広域）
		格納容器再循環サブ水位（広域）
		格納容器水位

女川発電所2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																																																	
<p>監視計器一覧（2/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 ・A格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・A格納容器スプレイ流量計 ・A格納容器スプレイ積算流量計 ・AM用消火水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・A格納容器スプレイ流量計 ・A格納容器スプレイ積算流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 ・A格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内への注水量	・恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内への注水量	・A格納容器スプレイ流量計 ・A格納容器スプレイ積算流量計 ・AM用消火水積算流量計	水源の確保	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内への注水量	・A格納容器スプレイ流量計 ・A格納容器スプレイ積算流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	<p>監視計器一覧（2/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・AM用消火水積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（3/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ろ過水タンク水位	水源の確保	・ろ過水タンク水位	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位	原子炉格納容器内への注水量	・AM用消火水積算流量	水源の確保	・ろ過水タンク水位	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・格納容器内温度	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位	原子炉格納容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																				
b. 代替格納容器スプレイ																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 ・A格納容器スプレイ流量計																																																																																																																		
	原子炉格納容器内への注水量	・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																		
	水源の確保	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																		
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																																																	
原子炉格納容器内への注水量		・A格納容器スプレイ流量計 ・A格納容器スプレイ積算流量計 ・AM用消火水積算流量計																																																																																																																		
水源の確保		・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																		
判断基準		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																																		
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																																																	
		原子炉格納容器内への注水量	・A格納容器スプレイ流量計 ・A格納容器スプレイ積算流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																	
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等																																																																																																																				
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																				
b. 代替格納容器スプレイ																																																																																																																				
判断基準		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																																	
		原子炉格納容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ろ過水タンク水位																																																																																																																	
	水源の確保	・ろ過水タンク水位																																																																																																																		
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位																																																																																																																	
		原子炉格納容器内への注水量	・AM用消火水積算流量																																																																																																																	
		水源の確保	・ろ過水タンク水位																																																																																																																	
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																
		1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等																																																																																																																		
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																				
b. 代替格納容器スプレイ																																																																																																																				
判断基準		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・格納容器内温度																																																																																																																		
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																																	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・格納容器水位																																																																																																																	
		原子炉格納容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																																																										
<p>監視計器一覧（3/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器漏水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.6.2.1(i)b(a)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計 ・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器漏水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1.6.2.1(i)b(b)と同様。ただし、電動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器漏水流量計（CRT）	補機監視機能		1.6.2.1(i)b(a)と同様。	(b) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計 ・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水流量計	操作	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器漏水流量計（CRT）	補機監視機能		1.6.2.1(i)b(b)と同様。ただし、電動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。		<p>監視計器一覧（6/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・ 治静線 1 L、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器漏水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量計（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>1.6.2.1(i)b、(a)ii、と同様。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="color: red; text-align: center;">【大飯3/4号炉との比較のため掲載順序入替え】</p> <p>監視計器一覧（8/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量計（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>1.6.2.1(i)b、(b)ii、と同様。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	電源	・ 治静線 1 L、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器漏水流量計	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量計（AM用）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.6.2.1(i)b、(a)ii、と同様。										対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量計（AM用）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	1.6.2.1(i)b、(b)ii、と同様。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。				操作												<p>運用の相違（差異理由①）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																																													
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																																																													
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																										
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																																																																										
	操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																																																										
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																																										
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器漏水流量計（CRT）																																																																																																																										
		補機監視機能																																																																																																																											
		1.6.2.1(i)b(a)と同様。																																																																																																																											
(b) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																										
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計 ・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水流量計																																																																																																																										
	操作	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																										
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器漏水流量計（CRT）																																																																																																																										
		補機監視機能																																																																																																																											
		1.6.2.1(i)b(b)と同様。ただし、電動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等																																																																																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																																													
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																																																													
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	電源	・ 治静線 1 L、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																																																																										
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器漏水流量計																																																																																																																										
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																																																										
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量計（AM用）																																																																																																																										
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																										
	操作	1.6.2.1(i)b、(a)ii、と同様。																																																																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																											
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等																																																																																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																																													
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																																																													
(c) ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																																																										
		原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量計（AM用）																																																																																																																										
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																										
		1.6.2.1(i)b、(b)ii、と同様。ただし、電動機駆動消火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。																																																																																																																											
	操作																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																
<p>監視計器一覧（4/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ AM用消火水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>原子炉格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ AM用消火水積算流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	補機冷却	原子炉格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計	・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計	原子炉格納容器スプレイポンプ冷却水流量計	・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計	<p>監視計器一覧（7/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">操作</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>原子炉格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量計</td> <td>・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量計</td> <td>・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	補機冷却	原子炉格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量計	・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量計	原子炉格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量計	・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																			
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																			
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																	
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 ・ AM用消火水積算流量計																																																																																	
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																	
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																	
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																																
操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計																																																																																	
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																	
	補機冷却	原子炉格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計	・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計																																																																																
		原子炉格納容器スプレイポンプ冷却水流量計	・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																	
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等																																																																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																			
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																			
判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計																																																																																	
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																	
	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																	
操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位																																																																																	
	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量計 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																	
	補機冷却	原子炉格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量計	・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量計																																																																																
		原子炉格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量計	・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量計																																																																																
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																							
<p>監視計器一覧（5/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.6.2.1(i)b.(e)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域）	電源	・ AM用格納容器圧力計	補機監視機能	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.6.2.1(i)b.(e)と同様。	<p>監視計器一覧（8/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 落水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">1.6.2.1(i) b. (c) ii. と同様。</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">1.6.2.1(i) b. (d) ii. と同様。</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">1.6.2.1(i) b. (e) ii. と同様。</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</p> <p>(f) 原水槽を水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(d) 落水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器内への注水量	操作	1.6.2.1(i) b. (c) ii. と同様。	・ 原子炉格納容器圧力	・ 格納容器圧力（AM用）	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	操作	1.6.2.1(i) b. (d) ii. と同様。	・ 原子炉格納容器圧力	・ 格納容器圧力（AM用）	判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・ B-格納容器スプレイ流量	操作	1.6.2.1(i) b. (e) ii. と同様。	・ B-格納容器スプレイ流量	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）		<p>設備の相違(差異理由①)</p> <p>設備の相違(差異理由①)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
a. 代替格納容器スプレイ																																																																										
(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																								
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																								
		・ 炉心出口温度計																																																																								
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																								
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位計（広域）																																																																								
	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域）																																																																								
	電源	・ AM用格納容器圧力計																																																																								
補機監視機能	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																									
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																									
操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																									
操作	1.6.2.1(i)b.(e)と同様。																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
a. 代替格納容器スプレイ																																																																										
(d) 落水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力																																																																								
		原子炉格納容器内への注水量																																																																								
操作	1.6.2.1(i) b. (c) ii. と同様。	・ 原子炉格納容器圧力																																																																								
		・ 格納容器圧力（AM用）																																																																								
判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量																																																																								
		・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																								
操作	1.6.2.1(i) b. (d) ii. と同様。	・ 原子炉格納容器圧力																																																																								
		・ 格納容器圧力（AM用）																																																																								
判断基準	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																								
		・ B-格納容器スプレイ流量																																																																								
操作	1.6.2.1(i) b. (e) ii. と同様。	・ B-格納容器スプレイ流量																																																																								
		・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																					
<p>(2) サポート系機能喪失時の手順等</p> <p>b. 格納容器内自然対流冷却</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</td> </tr> </table> <p>(a) 大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</p>	判断基準	電源	・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。		<p>監視計器一覧(9/19)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 可搬型大型送水ポンプを用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> <td>判断基準</td> <td>・ 冷却線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却			(a) 可搬型大型送水ポンプを用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	・ 冷却線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																		
判断基準		電源	・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																					
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																						
操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却																																								
(a) 可搬型大型送水ポンプを用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	・ 冷却線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																						
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																						
操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																																							
<p>監視計器一覧(6/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 炉心出口温度計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 炉心出口温度計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td>操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器内温度計 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 格納容器再循環サンプル水位計(広域) ・ 原子炉格納容器水位計 原子炉格納容器内の注水量 ・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 電源 ・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却			(a) A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 炉心出口温度計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。	b. 代替格納容器スプレイ		判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 炉心出口温度計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器内温度計 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 格納容器再循環サンプル水位計(広域) ・ 原子炉格納容器水位計 原子炉格納容器内の注水量 ・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 電源 ・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧(10/19)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の温度圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 格納容器再循環サンプル水位(広域) ・ 格納容器水位 原子炉格納容器内の注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 電源 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B母線電圧 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位 補機監視機能 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却			(a) C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉格納容器内の温度圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位	操作	原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 格納容器再循環サンプル水位(広域) ・ 格納容器水位 原子炉格納容器内の注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 電源 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B母線電圧 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位 補機監視機能 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却																																								
(a) A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 炉心出口温度計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計																																						
	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																																						
	b. 代替格納容器スプレイ																																							
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 炉心出口温度計 原子炉格納容器内の放射線量率 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量計 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																						
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	操作	原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器内温度計 原子炉格納容器内の圧力 ・ 格納容器圧力計(広域) ・ AM用格納容器圧力計 格納容器再循環サンプル水位計(広域) ・ 原子炉格納容器水位計 原子炉格納容器内の注水量 ・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 電源 ・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計																																						
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																					
	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 格納容器内自然対流冷却																																							
	(a) C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉格納容器内の温度圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																					
		操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a.「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																																					
	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ																																							
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 原子炉格納容器内の注水量 ・ 格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位																																						
	操作	原子炉格納容器内の温度 ・ 格納容器内温度 原子炉格納容器内の圧力 ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力(AM用) 格納容器再循環サンプル水位(広域) ・ 格納容器水位 原子炉格納容器内の注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 電源 ・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B母線電圧 水源の確保 ・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位 補機監視機能 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（7/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ AM用消火水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	操作	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ AM用消火水積算流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	操作	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	<p>監視計器一覧（11/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（12/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 水源の確保	操作	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位	原子炉格納容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内温度	操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ																																																																																									
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計																																																																																							
	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																							
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																							
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																							
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																							
操作	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																																							
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																																							
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ AM用消火水積算流量計																																																																																							
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																							
	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																						
原子炉格納容器内の圧力		・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																							
原子炉格納容器内への注水量		・ 格納容器スプレイ流量計																																																																																							
操作		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																																						
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																																							
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																							
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																						
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ																																																																																									
判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																							
	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 水源の確保																																																																																							
	操作	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位																																																																																						
原子炉格納容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量																																																																																								
水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ																																																																																									
判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																							
	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 格納容器内温度																																																																																							
	操作	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																																																							
<p>監視計器一覧（8/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（圧減） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、E、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.6.2.2(i)b(a)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) ディーゼル着火ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（圧減） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・A格納容器スプレイ流量計 ・恒設代替低圧注水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、E、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.6.2.2(i)b(b)と同様。ただし、電動着火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（圧減） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3（4）A、E、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・燃料取替用水ピット水位	操作	1.6.2.2(i)b(a)と同様。		(b) ディーゼル着火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（圧減） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・A格納容器スプレイ流量計 ・恒設代替低圧注水流量計	水源の確保	・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）	電源	・4-3（4）A、E、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ろ過水タンク水位	操作	1.6.2.2(i)b(b)と同様。ただし、電動着火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。		<p>監視計器一覧（15/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・ 治粉機 1 L、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.6.2.2(i) b、(a)ii、と同様。</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【大飯 3/4 号炉との比較のため掲載順序入れ替え】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">監視計器一覧（17/19）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) ディーゼル駆動着火ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.6.2.2(i) b、(b)ii、と同様。ただし、電動機駆動着火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	電源	・ 治粉機 1 L、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.6.2.2(i) b、(a)ii、と同様。		【大飯 3/4 号炉との比較のため掲載順序入れ替え】			監視計器一覧（17/19）			1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			(c) ディーゼル駆動着火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	1.6.2.2(i) b、(b)ii、と同様。ただし、電動機駆動着火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。		<p>運用の相違（差異理由①）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																										
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																																										
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計																																																																																																							
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（圧減） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																							
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																																							
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																																																							
	電源	・4-3（4）A、E、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																								
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																																							
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・燃料取替用水ピット水位																																																																																																							
	操作	1.6.2.2(i)b(a)と同様。																																																																																																								
	(b) ディーゼル着火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計																																																																																																						
原子炉格納容器内の放射線量率			・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																																																							
原子炉格納容器内の圧力			・格納容器圧力計（圧減） ・AM用格納容器圧力計																																																																																																							
原子炉格納容器内への注水量			・A格納容器スプレイ流量計 ・恒設代替低圧注水流量計																																																																																																							
水源の確保			・No. 2 淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																							
電源		・4-3（4）A、E、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																								
補機監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用） ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																							
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ろ過水タンク水位																																																																																																							
操作		1.6.2.2(i)b(b)と同様。ただし、電動着火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。																																																																																																								
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																							
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等																																																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																										
a. 代替格納容器スプレイ																																																																																																										
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	電源	・ 治粉機 1 L、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																																																							
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																																							
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																							
		操作	1.6.2.2(i) b、(a)ii、と同様。																																																																																																							
	【大飯 3/4 号炉との比較のため掲載順序入れ替え】																																																																																																									
	監視計器一覧（17/19）																																																																																																									
	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等																																																																																																									
	(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																									
	a. 代替格納容器スプレイ																																																																																																									
(c) ディーゼル駆動着火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																																																							
		原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																							
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																							
		操作	1.6.2.2(i) b、(b)ii、と同様。ただし、電動機駆動着火ポンプは、常用母線に電源がなく起動できないため除く。																																																																																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																																																							
<p>監視計器一覧（9/10）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ AM用消火水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td colspan="2">(c) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ AM用消火水積算流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	操作	(c) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	補機監視機能			・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計	<p>監視計器一覧（16/19）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">(b) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量 ・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ビット水位	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	操作	(b) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	補機冷却	・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量 ・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
a. 代替格納容器スプレイ																																																																										
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 炉心出口温度計																																																																								
	原子炉格納容器内の放射線量率	・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ）																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																								
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ AM用消火水積算流量計																																																																								
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																								
操作	(c) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ																																																																									
	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																								
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																								
	原子炉格納容器内への注水量	・ A格納容器スプレイ流量計 ・ A格納容器スプレイ積算流量計																																																																								
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																								
	補機監視機能																																																																									
		・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
a. 代替格納容器スプレイ																																																																										
判断基準	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																								
	原子炉格納容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ 燃料取替用水ビット水位																																																																								
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																								
	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																								
操作	(b) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ																																																																									
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器水位																																																																								
	原子炉格納容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																								
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																								
	補機冷却	・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量 ・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																									
<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td colspan="2">・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="3">1.6.2.2(i)b.(e)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計	電源	・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)		操作	1.6.2.2(i)b.(e)と同様。			<p>監視計器一覧(18/19)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(f) 原水槽を水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ			(d) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)	操作	原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	(e) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	(f) 原水槽を水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	<p>設備の相違(差異理由②)</p> <p>設備の相違(差異理由②)</p>
(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計																																							
				原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																							
				原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計(広域) ・AM用格納容器圧力計																																							
				原子炉格納容器内の注水量	・格納容器スプレイ流量計																																							
	電源	・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																										
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																											
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																											
操作	1.6.2.2(i)b.(e)と同様。																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																										
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ																																												
(d) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用)																																										
	操作	原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																										
(e) 代替給水ビットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																										
	操作	原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																										
(f) 原水槽を水源とした可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器内の圧力 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力(AM用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																										
	操作	原子炉格納容器内の注水量 ・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)																																										
<p>監視計器一覧(10/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(i)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却			(a) 大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)	電源	・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(i)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。		<p>監視計器一覧(19/19)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) 可搬式大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・泊幹線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(i)a.「可搬式大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却			(a) 可搬式大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	電源 ・泊幹線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(i)a.「可搬式大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却																																												
(a) 大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計																																									
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)																																									
		電源	・4-3(4)A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																									
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																									
操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(i)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																										
1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 格納容器内自然対流冷却																																												
(a) 可搬式大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	判断基準	電源 ・泊幹線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																										
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																										
操作	「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(i)a.「可搬式大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																																									
<p>第 1.6.6 表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="114 614 683 997"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>給電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ</td> <td>空冷式非常用発電装置</td> </tr> <tr> <td>A原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常月高压母線</td> </tr> <tr> <td>B原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常月高压母線</td> </tr> <tr> <td>A海水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常月高压母線</td> </tr> <tr> <td>B 1 海水ポンプ</td> <td>4-3(4)A 非常月高压母線</td> </tr> <tr> <td>B 2 海水ポンプ</td> <td>4-3(4)B 非常月高压母線</td> </tr> <tr> <td>C 海水ポンプ</td> <td>4-3(4)B 非常月高压母線</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	給電元	【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置	A原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線	B原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線	A海水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線	B 1 海水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線	B 2 海水ポンプ	4-3(4)B 非常月高压母線	C 海水ポンプ	4-3(4)B 非常月高压母線	<p>第 1.6.6 表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備</p> <table border="1" data-bbox="763 630 1323 973"> <thead> <tr> <th>対象条文</th> <th>供給対象設備</th> <th>給電元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9">【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等</td> <td>C-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>6-B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却水ポンプ</td> <td>6-B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>C-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>6-B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td>D-原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>6-B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td></td> <td>6-A 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6-B 非常用高压母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替非常用発電機</td> </tr> <tr> <td>A-ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ</td> <td>A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ</td> </tr> <tr> <td>B-ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ</td> <td>B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ</td> </tr> </tbody> </table>	対象条文	供給対象設備	給電元	【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	C-原子炉補機冷却水ポンプ	6-B 非常用高压母線	D-原子炉補機冷却水ポンプ	6-B 非常用高压母線	C-原子炉補機冷却海水ポンプ	6-B 非常用高压母線	D-原子炉補機冷却海水ポンプ	6-B 非常用高压母線	代替格納容器スプレイポンプ		6-A 非常用高压母線		6-B 非常用高压母線		代替非常用発電機	A-ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ	A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ	B-ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ	B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ		
対象条文	供給対象設備	給電元																																										
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置																																										
	A原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線																																										
	B原子炉補機冷却水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線																																										
	A海水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線																																										
	B 1 海水ポンプ	4-3(4)A 非常月高压母線																																										
	B 2 海水ポンプ	4-3(4)B 非常月高压母線																																										
	C 海水ポンプ	4-3(4)B 非常月高压母線																																										
対象条文	供給対象設備	給電元																																										
【1.6】 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等	C-原子炉補機冷却水ポンプ	6-B 非常用高压母線																																										
	D-原子炉補機冷却水ポンプ	6-B 非常用高压母線																																										
	C-原子炉補機冷却海水ポンプ	6-B 非常用高压母線																																										
	D-原子炉補機冷却海水ポンプ	6-B 非常用高压母線																																										
	代替格納容器スプレイポンプ		6-A 非常用高压母線																																									
			6-B 非常用高压母線																																									
			代替非常用発電機																																									
	A-ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ	A-ディーゼル発電機 コントロールセンタ																																										
	B-ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ	B-ディーゼル発電機 コントロールセンタ																																										

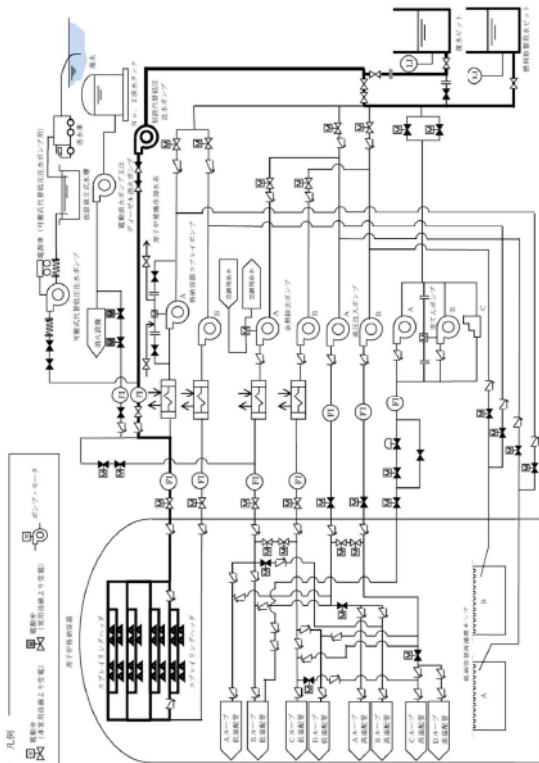
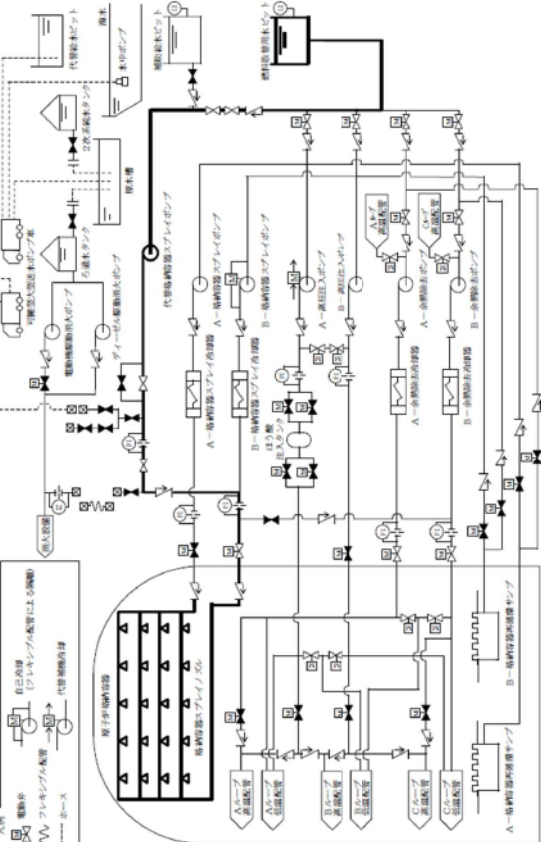
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center;">原子炉格納容器冷却機能喪失</p> <p style="text-align: center;">第1.6.1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p style="text-align: center;">第1.6.1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p style="text-align: center;">女川発電所2号炉</p>	<p style="text-align: center;">差異理由</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
 <p>第 1.6.2 図 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ 概略系統</p>	 <p>第 1.6.2 図 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

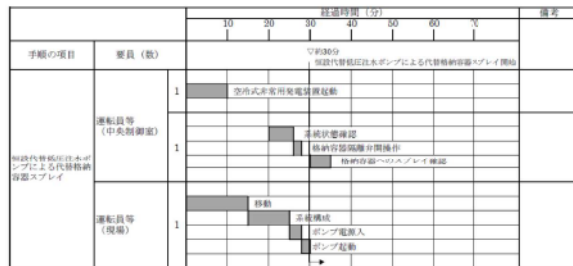
1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

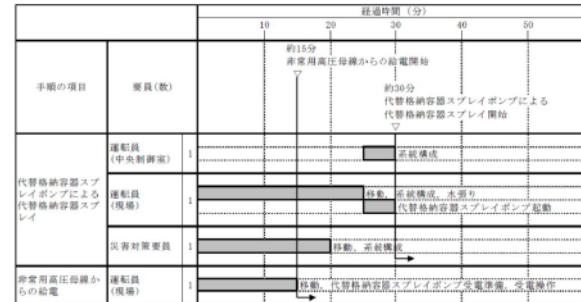
女川発電所2号炉

差異理由

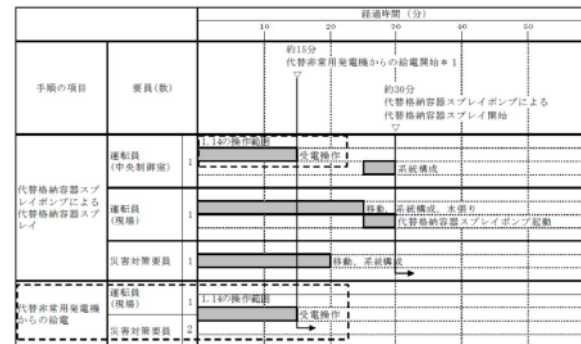


第1.6.3図 恒設代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ タイムチャート

フロントライン系機能喪失時



サポート系機能喪失時



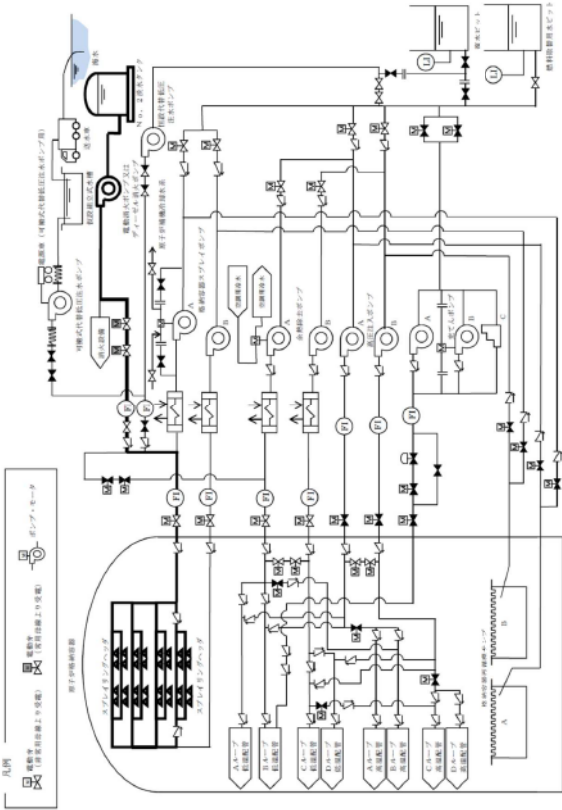
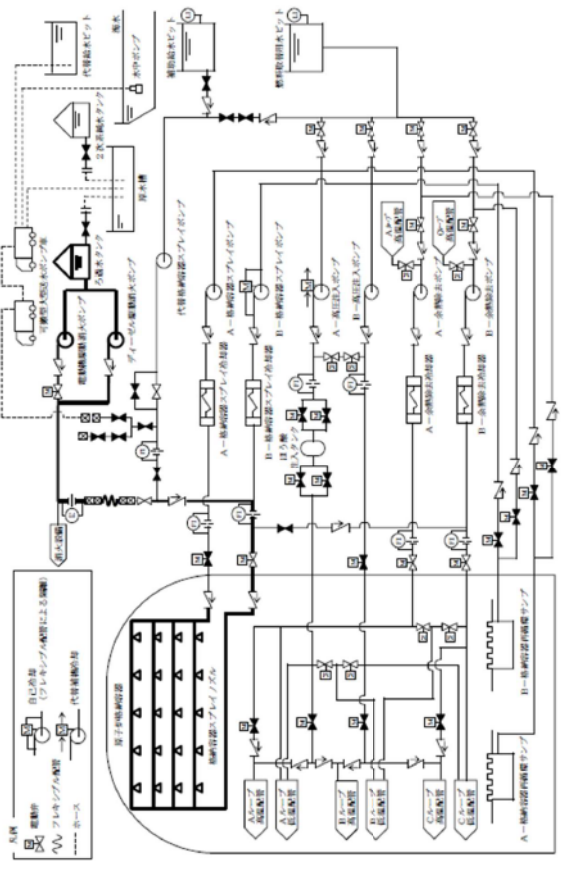
※1：代替非常用発電機からの給電は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。

第 1.6.3 図 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ
タイムチャート

設備の相違(差異理由④)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

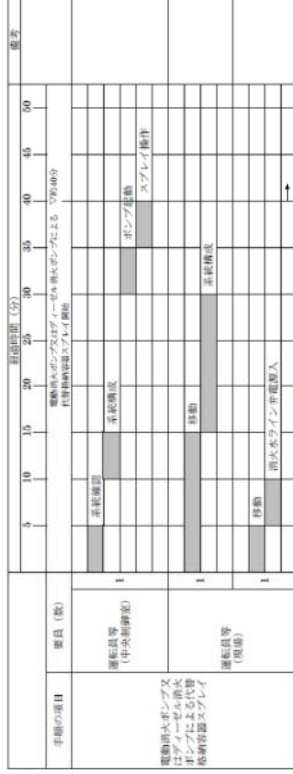
1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
 <p>第1.6.4図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替格納容器スプレイ 概略系統</p>	 <p>第1.6.4図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

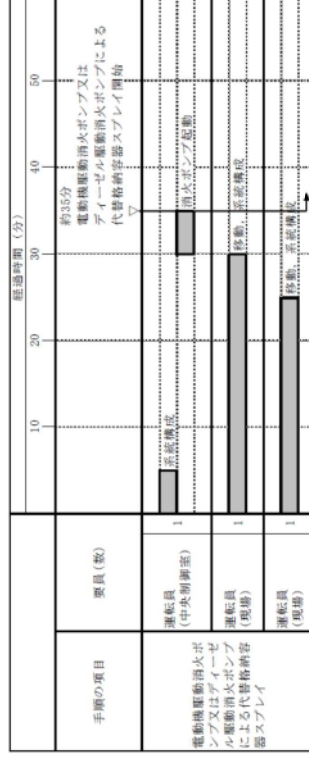
1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉



※ 現場標準時間には約5分、人員運用時間を含む。

泊発電所3号炉



第1.6.5図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ タイムチャート

女川発電所2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.6.6図 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ 概略系統</p>	<p>第1.6.6図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉

設備	要員(数)	経過時間(時間)											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ	緊急対応要員	0	可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ開始										
		1	可搬式ポンプ運転										
		2	可搬式ポンプから格納容器内の可搬式ポンプに接続										
		3	可搬式ポンプ運転										
注：経過時間時刻には当該要員が常駐するものと仮定した。													

第1.6.7図 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替格納容器スプレイ タイムチャート

泊発電所3号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(時間)											
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
海水を用いた可搬式代替格納容器スプレイ	運転員(中央制御室)	約4時間55分 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ開始											
	運転員(現場)	可搬式ポンプ車運転											
	運転員(現場)	可搬式ポンプ車運転											
	現場作業員	可搬式ポンプ車運転											
注：経過時間時刻には当該要員が常駐するものと仮定した。													

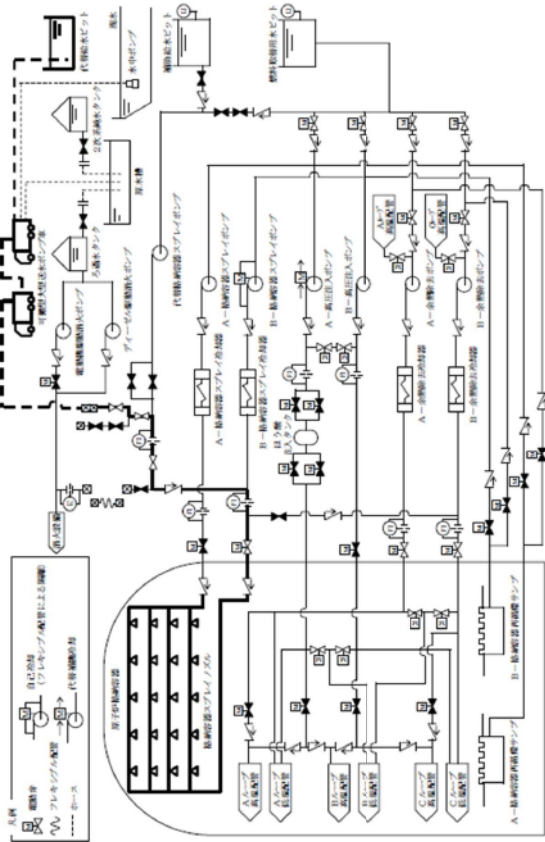
第1.6.7図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ タイムチャート

女川発電所2号炉

差異理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="197 767 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p style="text-align: center;">第1.6.8図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 配路系統</p>		設備の相違(差異理由①)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

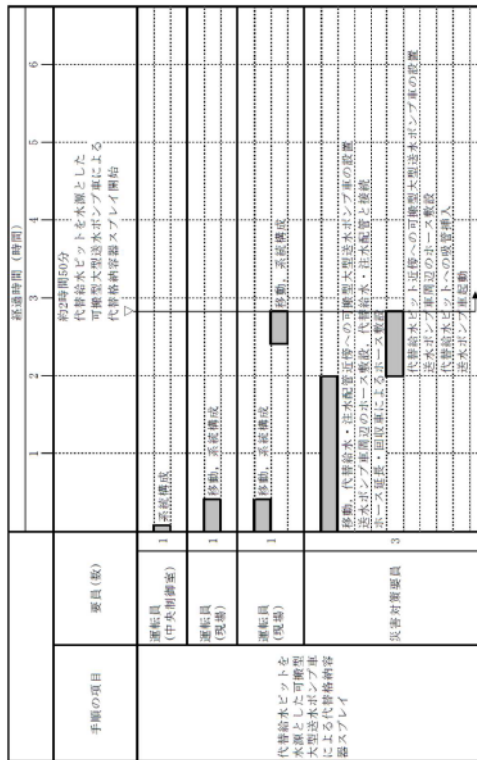
大飯発電所3/4号炉

泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

差異理由

泊3号炉との比較対象なし

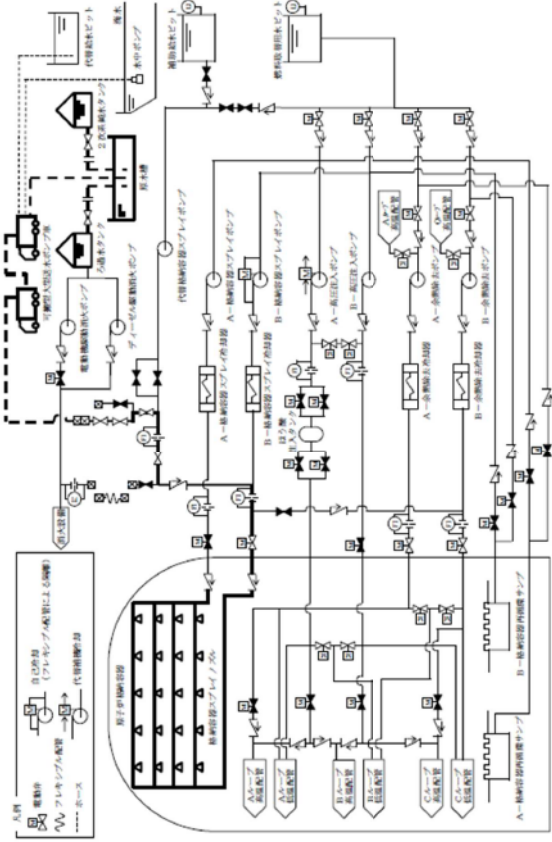


第1.6.9図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ タイムチャート

設備の相違(差異理由①)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="197 770 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p style="text-align: center;">第1.6.10図 原水槽を水源とした可兼型大型送水ポンプ車による代替格納容器サブレイ 概略系統</p>		設備の相違(差異理由①)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.6.8図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（炉心損傷前）</p>	<p>第1.6.12図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（炉心損傷前）（1/2）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="197 767 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="757 411 1323 975" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="801 1018 1285 1031" style="font-size: small;">※1：格納容器内へのアクセスポート開放作業の結果、アクセスの時刻に見通しがつく場合は、「格納容器内の水を汲み出す」の判断へ移行する。</p> <p data-bbox="808 1086 1290 1142" style="text-align: center;">第 1.6.12 図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失) (炉心損傷前) (2/2)</p>		<p data-bbox="2011 667 2136 919">設備の相違(差異理由①) ・泊3号炉は、可搬型大型送水ポンプ車の水源の選択の手順を本フローで整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.6.10図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ 概略系統</p>	<p>第1.6.14図 B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ（炉心損傷前） 概略系統</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center;">経過時間(分)</p> <p style="text-align: center;">備考</p>	<p style="text-align: center;">経過時間(分)</p>		
<p>※ 現地稼働時間には防保運具 取用時間を含まず。</p> <p style="text-align: center;">第1.6.11図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ タイムチャート</p>	<p style="text-align: center;">第 1. 6. 15 図 Bー格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ タイムチャート</p>		

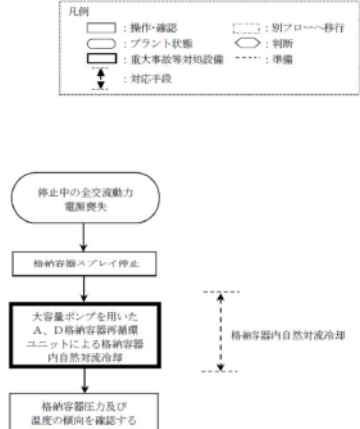
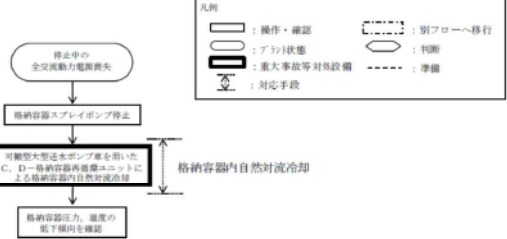
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>1.6.12図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（炉心損傷前）</p>	<p>1.6.16図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（炉心損傷前）（1/2）</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> □：操作・確認 ○：プラント状態 ■：重大事故等対応設備 ↑↓：対応手段 ○---○：別フローへ移行 ◇：判断 ---：準備  <p>第 1.6.13 図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (炉心損傷前)</p>	<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> □：操作・確認 ○：プラント状態 ■：重大事故等対応設備 ↑↓：対応手段 ○---○：別フローへ移行 ◇：判断 ---：準備  <p>第 1.6.17 図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (炉心損傷前)</p>		

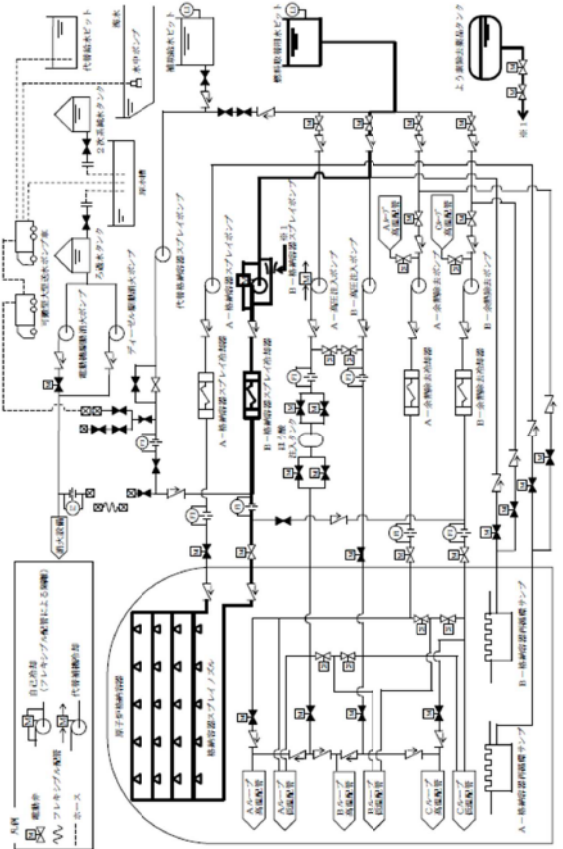
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由								
<div data-bbox="197 770 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="815 300 1111 1289" style="text-align: center;"> <p>第 1.6.18 図 代替格納容器スプレイポンプによる炉心注水から格納容器スプレイへの切替え タイムチャート</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <thead> <tr> <th>手順の項目</th> <th>要員(数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプによる炉心注水から格納容器スプレイへ切替え</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>運転員(中央制御室)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>運転員(現場)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> </div>	手順の項目	要員(数)	代替格納容器スプレイポンプによる炉心注水から格納容器スプレイへ切替え	1	運転員(中央制御室)	1	運転員(現場)	1		<p>設備の相違(差異理由④)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は、代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替える場合に、現場操作が必要なため、切替えに要する時間をタイムチャートに整理している。
手順の項目	要員(数)										
代替格納容器スプレイポンプによる炉心注水から格納容器スプレイへ切替え	1										
運転員(中央制御室)	1										
運転員(現場)	1										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="197 767 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	 <p style="text-align: center;">第1.6.19図 B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ（炉心損傷後） 概略系統</p>		<p>差異理由</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は、炉心損傷後に、よう素除去薬品タンクを使用するため、炉心損傷前の概略系統（第1.6.14図）とは別整理としている。 ・炉心損傷後に、よう素除去薬品タンクを使用する手順は大飯3/4号と相違なく、記載方針の相違。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>図1.6.14図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（炉心損傷後）</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>図1.6.20図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（炉心損傷後）（1/2）</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p>

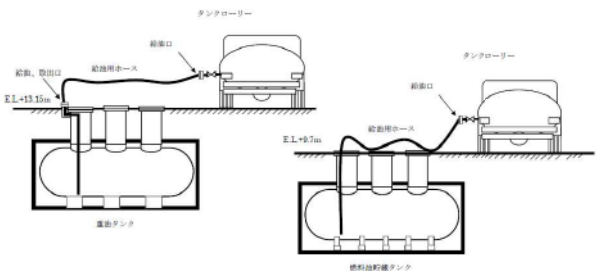
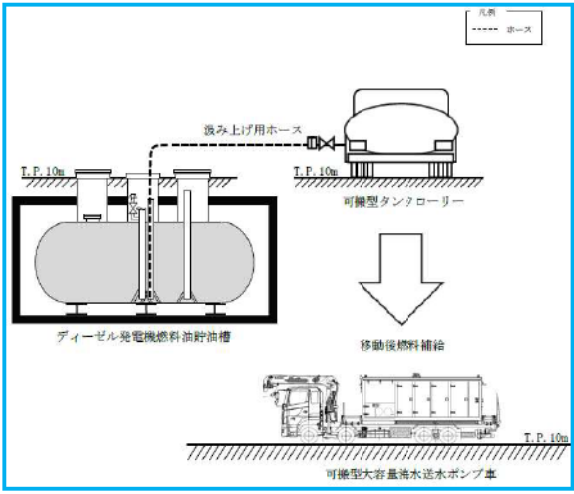
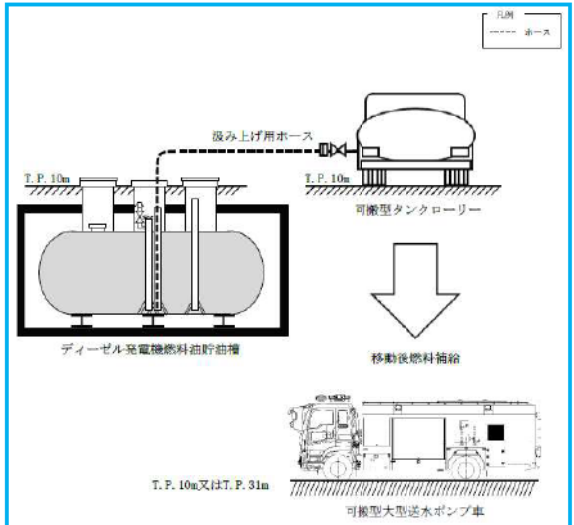
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p style="text-align: center;">第1.6.20図 原子炉格納容器内の冷却機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (炉心損傷後) (2/2)</p>		<p>設備の相違(差異理由①) ・泊3号炉は、可搬型大型送水ポンプ車の水源の選択の手順を本フローで整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
 <p>第1.6.15図 電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給 概略図</p>	<p>【比較のため技術的能力1.12より転記】</p>  <p>【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> 	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>記載方針の相違 (差異理由⑤)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>○電報車（可搬式移送圧水ポンプ用）への燃料補給</p> <p>○大容量ポンプへの燃料補給</p> <p>○送水車への燃料補給</p> <p>※ 燃料搬送時間には対応作業員作業時間を示す。</p> <p>※1.6.16図 電報車（可搬式移送圧水ポンプ用）、大容量ポンプ、送水車への燃料補給 タイムチャート</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">【比較のため技術的能力1.12より転記】</p> <p>第 1.12.17 図 可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給 タイムチャート</p> <p style="text-align: center;">【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <p>第1.13.45図 可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給 タイムチャート</p>	<p>女川発電所2号炉</p>	<p>差異理由</p> <p>設備の相違(差異理由①、②)</p> <p>記載方針の相違(差異理由⑤)</p> <p>記載方針の相違(差異理由⑤)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<p>第1.6.17図 燃料補給アクセスルート</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>第1.13.46図 可搬型大容量送水ポンプ車への燃料給油アクセスルート</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>第1.12.18図 可搬型大容量送水ポンプ車への燃料補給 アクセスルート</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>		<p>記載方針の相違 (差異理由⑤)</p>
	<p>【比較のため技術的能力 1.13 より転記】</p> <p>造而</p> <p>【比較のため技術的能力 1.12 より転記】</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉

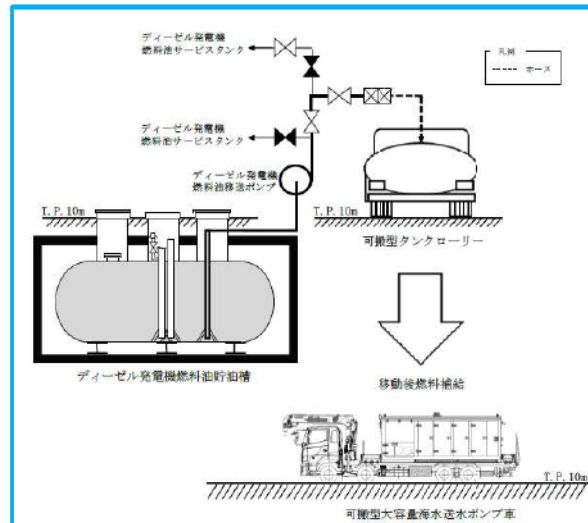
泊発電所3号炉

女川発電所2号炉

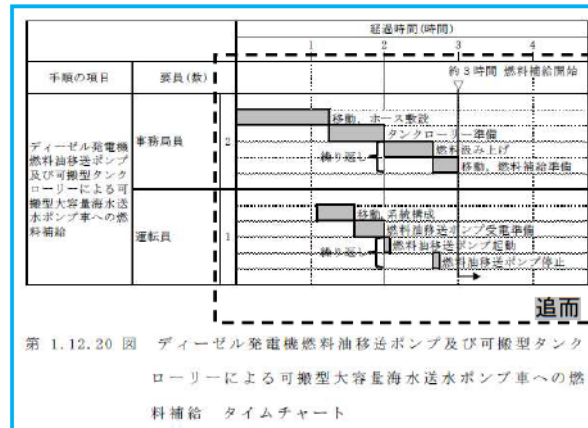
差異理由

泊3号炉との比較対象なし

【比較のため技術的能力 1.12 より転記】



第 1.12.19 図 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給 概略系統

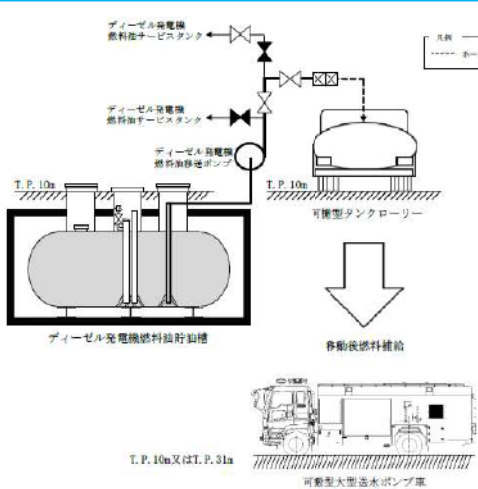


第 1.12.20 図 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給 タイムチャート

記載方針の相違
 (差異理由⑤)
 設備の相違(差異理由⑥)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由																													
<div data-bbox="197 767 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="752 240 1339 1342" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue;">【比較のため技術的能力 1.13 より転記】</p>  <p style="text-align: center;">第1.13.47図 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給 概略系統</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員(数)</th> <th colspan="4">経過時間(時間)</th> </tr> <tr> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給</td> <td rowspan="2">車務局員</td> <td>1</td> <td>移動、ホース接続</td> <td>約3時間 燃料補給開始</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>燃料油移送ポンプ稼働、燃料補給準備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">運転員</td> <td>1</td> <td>移動、系統確認</td> <td>燃料油移送ポンプ稼働準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>燃料油移送ポンプ稼働</td> <td>燃料補給開始</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: blue;">追而</p> <p style="text-align: center;">第1.13.48図 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給 タイムチャート</p> </div>	手順の項目	要員(数)	経過時間(時間)				1	2	3	4	ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給	車務局員	1	移動、ホース接続	約3時間 燃料補給開始		2	燃料油移送ポンプ稼働、燃料補給準備			運転員	1	移動、系統確認	燃料油移送ポンプ稼働準備		1	燃料油移送ポンプ稼働	燃料補給開始			<p style="color: blue;">記載方針の相違 (差異理由⑤) 設備の相違(差異理由⑥)</p>
手順の項目	要員(数)			経過時間(時間)																												
		1	2	3	4																											
ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び可搬型タンクローリーによる可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給	車務局員	1	移動、ホース接続	約3時間 燃料補給開始																												
		2	燃料油移送ポンプ稼働、燃料補給準備																													
	運転員	1	移動、系統確認	燃料油移送ポンプ稼働準備																												
		1	燃料油移送ポンプ稼働	燃料補給開始																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	女川発電所2号炉	差異理由
<div data-bbox="197 767 607 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<p style="text-align: center;">【比較のため技術的能力1.12より転記】</p> <div data-bbox="741 296 1350 767"> <p style="text-align: center;">第 1.12.21 図 可搬型大容量海水送水ポンプ車への燃料補給に関する 対応手順</p> </div> <p style="text-align: center;">【比較のため技術的能力1.13より転記】</p> <div data-bbox="741 842 1350 1326"> <p style="text-align: center;">第1.13.49図 可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給手順</p> </div>		<p>記載方針の相違 (差異理由⑤) 設備の相違(差異理由⑤)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

女川発電所 2号炉																								
添付資料 1.6.5																								
解釈一覧																								
1. 判断基準の解釈一覧																								
1.6.2.3 重大事故等対処設備（設計基準仕様）による対応手順	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>判断基準記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(2) 残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）によるサブプレッションプールの除熱</td> <td>サブプレッションプール水温度指示値が規定値以上</td> <td>サブプレッションプール水温度指示値が32℃以上</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室内空気温度指示値が規定値以上</td> <td>圧力制御室内空気温度指示値が□以上</td> </tr> </tbody> </table>	手順	判断基準記載内容	解釈	(2) 残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）によるサブプレッションプールの除熱	サブプレッションプール水温度指示値が規定値以上	サブプレッションプール水温度指示値が32℃以上	圧力制御室内空気温度指示値が規定値以上	圧力制御室内空気温度指示値が□以上															
手順	判断基準記載内容	解釈																						
(2) 残留熱除去系（サブプレッションプール水冷却モード）によるサブプレッションプールの除熱	サブプレッションプール水温度指示値が規定値以上	サブプレッションプール水温度指示値が32℃以上																						
	圧力制御室内空気温度指示値が規定値以上	圧力制御室内空気温度指示値が□以上																						
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。																								
2. 操作手順の解釈一覧																								
1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための対応手順	<table border="1"> <thead> <tr> <th>手順</th> <th>操作手順記載内容</th> <th>解釈</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 原子炉格納容器代替スプレイ</td> <td>(a) 原子炉格納容器代替スプレイ発動系（常設）による原子炉格納容器内へのスプレイ</td> <td> waters transfer pump出口圧力指示値が規定値以上</td> <td> waters transfer pump出口圧力指示値が0.70MPa以上</td> </tr> <tr> <td>(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧</td> <td>(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉格納容器内へのスプレイ</td> <td> 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上</td> <td> 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1.6.2.2 原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 b. 原子炉格納容器除熱</td> <td>(a) ドライウェル冷却系による原子炉格納容器内の除熱</td> <td> BFW・RSW 凝 ESS-I 及び BFW・RSW 凝 ESS-II (H11-P688)</td> <td> BFW・RSW 凝 ESS-I (H11-P688) 及び BFW・RSW 凝 ESS-II (H11-P689)</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 常用換気空調系及び常用換気空調系補助盤</td> <td> 常用換気空調系 (H11-P682) 及び常用換気空調系補助盤 (H11-P683)</td> </tr> <tr> <td>1.6.2.3 重大事故等対処設備（設計基準仕様）による対応手順</td> <td>(1) 残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）による原子炉格納容器内へのスプレイ</td> <td> 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上</td> <td> 残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上</td> </tr> </tbody> </table>	手順	操作手順記載内容	解釈	(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 原子炉格納容器代替スプレイ	(a) 原子炉格納容器代替スプレイ発動系（常設）による原子炉格納容器内へのスプレイ	waters transfer pump出口圧力指示値が規定値以上	waters transfer pump出口圧力指示値が0.70MPa以上	(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧	(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉格納容器内へのスプレイ	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上	1.6.2.2 原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 b. 原子炉格納容器除熱	(a) ドライウェル冷却系による原子炉格納容器内の除熱	BFW・RSW 凝 ESS-I 及び BFW・RSW 凝 ESS-II (H11-P688)	BFW・RSW 凝 ESS-I (H11-P688) 及び BFW・RSW 凝 ESS-II (H11-P689)		常用換気空調系及び常用換気空調系補助盤	常用換気空調系 (H11-P682) 及び常用換気空調系補助盤 (H11-P683)	1.6.2.3 重大事故等対処設備（設計基準仕様）による対応手順	(1) 残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）による原子炉格納容器内へのスプレイ	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上	
手順	操作手順記載内容	解釈																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 原子炉格納容器代替スプレイ	(a) 原子炉格納容器代替スプレイ発動系（常設）による原子炉格納容器内へのスプレイ	waters transfer pump出口圧力指示値が規定値以上	waters transfer pump出口圧力指示値が0.70MPa以上																					
	(2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧	(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉格納容器内へのスプレイ	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上																				
1.6.2.2 原子炉格納容器の破損を防止するための対応手順 b. 原子炉格納容器除熱	(a) ドライウェル冷却系による原子炉格納容器内の除熱	BFW・RSW 凝 ESS-I 及び BFW・RSW 凝 ESS-II (H11-P688)	BFW・RSW 凝 ESS-I (H11-P688) 及び BFW・RSW 凝 ESS-II (H11-P689)																					
		常用換気空調系及び常用換気空調系補助盤	常用換気空調系 (H11-P682) 及び常用換気空調系補助盤 (H11-P683)																					
1.6.2.3 重大事故等対処設備（設計基準仕様）による対応手順	(1) 残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）による原子炉格納容器内へのスプレイ	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上	残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が0.69MPa以上																					

泊発電所 3号炉		
添付資料 1.6.16-(1)		
解釈一覧		
1. 「手順着手の判断基準」及び「操作手順」解釈一覧		
対応手段	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	
	記載内容	解釈
判断基準	燃料取替水ビットの水位が再循環切替水位以上	燃料取替水ビット水位：16.5%以上
	燃料取替水ビット等の水位が確保されている	・燃料取替水ビット水位□%以上 ・補助給水ビット水位□%以上
操作手順 ②	非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場でA又はB-非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(3)）」参照
操作手順 ③	代替格納容器スプレイに伴う系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(3)）」参照
操作手順 ⑤	代替格納容器スプレイポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(3)）」参照
操作手順 ⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないこと	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量：約140m ³ /h ※有効性評価「格納容器過圧破損」等の解析条件より引用
操作手順 ⑦	燃料取替水ビット水位が再循環切替水位	・燃料取替水ビット水位：16.5%到達 ・格納容器再循環サンプル水位（広域）：71%以上
操作手順 ⑧	格納容器圧力が通常運転圧力まで低下	格納容器圧力：□ MPa[gage]
操作手順 ⑨	炉心発熱を効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	・格納容器水位検出器「作動」
対応手段	1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	
	記載内容	解釈
判断基準	燃料取替水ビットの水位が再循環切替水位以上確保され	燃料取替水ビット水位：16.5%以上
	燃料取替水ビット等の水位が確保され	・燃料取替水ビット水位□%以上 ・補助給水ビット水位□%以上
枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。		

【大飯 3/4号炉】
 記載方針の相違
 ・比較対象の添付資料なし。

【女川 2号炉】
 プラント型式の相違
 ・泊 3号炉の重大事故等への対応に用いている設備のうち、格納容器内自然対流冷却手段の活用による対応等については、PWR 固有の設計に基づくものであり、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく女川 2号炉と異なる。PWR プラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点では、まとめ資料本文比較表にて大飯 3/4号炉と比較する。

【女川 2号炉】
 記載方針の相違
 ・泊 3号炉は、本文中の「手順着手の判断基準」及び「操作手順」において、具体的な数値または操作内容を示していない事項について、解釈一覧の 1. に整理し、概略系統図と具体的な弁名称を含む操作対象機器を解釈一覧の 2. に記載。
 ・女川 2号炉は「判断基準」、「操作手順」及び「弁番号及び弁名称」をそれぞれ一覧表で整理している。
 ・本文中に具体的な数値または操作内容を示していない事項について、添付資料で明確化する方針に相違なし。以下、同様。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

女川発電所2号炉	泊発電所3号炉	差異理由																																							
<div data-bbox="405 762 651 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.6.16-(2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>格納容器へスプレイするために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td>・燃料取替用水ビット水位：<input type="checkbox"/>%以上 ・補助給水ビット水位：<input type="checkbox"/>%以上</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場でA又はB-非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ③</td> <td>代替格納容器スプレイに伴う系統構成</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑤</td> <td>代替格納容器スプレイポンプを起動</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑥</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算質量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないこと</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算質量：約140m³/h ※有効性評価「格納容器過圧破損」等の解析条件より引用</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ⑦</td> <td>炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認</td> <td>・格納容器水位検出器「作動」</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替える場合の手順】</td> </tr> <tr> <td>操作手順 ②</td> <td>代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替え</td> <td>「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(5)）」参照</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">対応手段</td> <td colspan="2">1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機電喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">記載内容</td> <td style="text-align: center;">解釈</td> </tr> <tr> <td>判断基準</td> <td>格納容器にスプレイするために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている</td> <td>・燃料取替用水ビット水位：<input type="checkbox"/>%以上 ・補助給水ビット水位：<input type="checkbox"/>%以上</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;"> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	対応手段	1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ			記載内容	解釈	判断基準	格納容器へスプレイするために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	・燃料取替用水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上 ・補助給水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上	操作手順 ②	非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場でA又はB-非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照	操作手順 ③	代替格納容器スプレイに伴う系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照	操作手順 ⑤	代替格納容器スプレイポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照	操作手順 ⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口積算質量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないこと	代替格納容器スプレイポンプ出口積算質量：約140m ³ /h ※有効性評価「格納容器過圧破損」等の解析条件より引用	操作手順 ⑦	炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	・格納容器水位検出器「作動」	対応手段	1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替える場合の手順】		操作手順 ②	代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替え	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(5)）」参照	対応手段	1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機電喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ			記載内容	解釈	判断基準	格納容器にスプレイするために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	・燃料取替用水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上 ・補助給水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上	
対応手段	1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ																																								
	記載内容	解釈																																							
判断基準	格納容器へスプレイするために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	・燃料取替用水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上 ・補助給水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上																																							
操作手順 ②	非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が可能な場合、現場でA又はB-非常用高圧母線に接続される受電遮断器の投入操作	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照																																							
操作手順 ③	代替格納容器スプレイに伴う系統構成	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照																																							
操作手順 ⑤	代替格納容器スプレイポンプを起動	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(4)）」参照																																							
操作手順 ⑥	代替格納容器スプレイポンプ出口積算質量等により、代替格納容器スプレイポンプの運転状態に異常がないこと	代替格納容器スプレイポンプ出口積算質量：約140m ³ /h ※有効性評価「格納容器過圧破損」等の解析条件より引用																																							
操作手順 ⑦	炉心発熱有効長上端位置から0.5m下まで注水されたことを格納容器水位等により確認	・格納容器水位検出器「作動」																																							
対応手段	1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機電喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替える場合の手順】																																								
操作手順 ②	代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替え	「2. 操作対象機器一覧（添付資料1.6.16-(5)）」参照																																							
対応手段	1.6.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (2) サポート系機電喪失時の手順等 a. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ																																								
	記載内容	解釈																																							
判断基準	格納容器にスプレイするために必要な燃料取替用水ビット等の水位が確保されている	・燃料取替用水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上 ・補助給水ビット水位： <input type="checkbox"/> %以上																																							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

女川発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

差異理由

3. 弁番号及び弁名称一覧

弁番号	弁名称	操作場所
F13-MD-F010	CRD 復水入口弁	中央制御室
F13-MD-F022	MWC サンプルリング取出止め弁	中央制御室
F15-MD-F001	FMEW ポンプ吸込弁	中央制御室
F13-MD-F070	T/B 緊急時隔離弁	中央制御室
F13-MD-F071	R/B B1F 緊急時隔離弁	中央制御室
F13-MD-F171	R/B 1F 緊急時隔離弁	中央制御室
F13-MD-F073	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	中央制御室
E11-MD-F010A	B線 A 系格納容器スプレイ隔離弁	中央制御室
E11-MD-F010B	B線 B 系格納容器スプレイ隔離弁	中央制御室
E11-MD-F009A	B線 A 系格納容器スプレイ流量調整弁	中央制御室
E11-MD-F009B	B線 B 系格納容器スプレイ流量調整弁	中央制御室
E11-MD-F062A	B線 ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	中央制御室
E11-MD-F062B	B線 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	中央制御室
F13-MD-F190	FW 系連絡第一弁	中央制御室
F13-MD-F191	FW 系連絡第二弁	中央制御室
E11-MD-F011A	B線 A 系 S/C スプレイ隔離弁	中央制御室
E11-MD-F011B	B線 B 系 S/C スプレイ隔離弁	中央制御室
P70-D001-5	格納容器スプレイ弁	屋外
E11-F063A	B線 A 系格納容器代替スプレイ注入元弁	屋外
E11-F063B	B線 B 系格納容器代替スプレイ注入元弁	屋外
E11-MD-F003A	B線 熱交換器 (A) バイパス弁	中央制御室
E11-MD-F003B	B線 熱交換器 (B) バイパス弁	中央制御室
E11-MD-F012A	B線 A 系試験用調整弁	中央制御室
E11-MD-F012B	B線 B 系試験用調整弁	中央制御室
F42-MD-F112A	RCW 供給側第二隔離弁 (A)	中央制御室
F42-MD-F112B	RCW 供給側第二隔離弁 (B)	中央制御室
F42-MD-F115A	RCW 戻り側第一隔離弁 (A)	中央制御室
F42-MD-F115B	RCW 戻り側第一隔離弁 (B)	中央制御室
F42-MD-F116A	RCW 戻り側第二隔離弁 (A)	中央制御室
F42-MD-F116B	RCW 戻り側第二隔離弁 (B)	中央制御室

2. 操作対象機器一覧

1.6.2.1 炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等
 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等
 b. 代替格納容器スプレイ
 (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ

概略系統

操作対象機器

操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	
②	代替格納容器スプレイポンプ受電機作	SA用代替電源受電 (6-E G 3A) SA用代替電源受電 (6-E G 3B)	切→入 切→入	原子炉建屋T.P. 10.3m 原子炉建屋T.P. 10.3m	A線受電機の場合 B線受電機の場合	
③	系統構成	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 24.5m	—	
④		代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 24.5m	—	
⑤		A-線可取替用水ポンプ出口バント弁	全開→調整開→全開	原子炉建屋T.P. 24.5m	系統水直り	
⑥		代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—	
⑦		ホース	ホース接続	—	原子炉建屋T.P. 10.3m	—
⑧		代替格納容器スプレイポンプ出口バント弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水直り	
⑨		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ目取り弁	全閉→調整開→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水直り	
⑩		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ目取り弁	全閉→調整開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—	
⑪		B-線格納容器スプレイ冷却隔離出口C/V外側隔離弁	全閉→全開	中央制御室	交流電源	
⑫		代替格納容器スプレイポンプ起動	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	原子炉建屋T.P. 10.3m	交流電源

1 ~ : 同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

添付資料 1.6.16-(3)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																																																
<p>比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.6.16-(4)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>対応手段 1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ</p> <p style="text-align: center;">概略系統</p> <p style="text-align: center;">操作対象機器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ受電操作</td> <td>S A用代替電源受電（6-E G 3 A） S A用代替電源受電（6-E G 3 B）</td> <td>切→入</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>A回路受電の場合 B回路受電の場合</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td rowspan="10">系統構成</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口管1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口管2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>A-燃料冷却器注水ポンプ出口弁止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>系統水張り</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>ホース</td> <td>ホース接続</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>系統水張り</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口弁2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>系統水張り</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ目取弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>B-格納容器スプレイ注水出口C/V弁閉鎖操作</td> <td>全閉→全開</td> <td>—</td> <td>交代電源</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ起動</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> <td>原子炉建屋T.P. 10.3m</td> <td>交代電源</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	①	代替格納容器スプレイポンプ受電操作	S A用代替電源受電（6-E G 3 A） S A用代替電源受電（6-E G 3 B）	切→入	原子炉建屋T.P. 10.3m	A回路受電の場合 B回路受電の場合	②	系統構成	代替格納容器スプレイポンプ入口管1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—	③	代替格納容器スプレイポンプ入口管2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—	④	A-燃料冷却器注水ポンプ出口弁止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水張り	⑤	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—	⑥	ホース	ホース接続	—	—	⑦	代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水張り	⑧	代替格納容器スプレイポンプ出口弁2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水張り	⑨	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ目取弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—	⑩	B-格納容器スプレイ注水出口C/V弁閉鎖操作	全閉→全開	—	交代電源	⑪	代替格納容器スプレイポンプ起動	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	原子炉建屋T.P. 10.3m	交代電源	
操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																																																													
①	代替格納容器スプレイポンプ受電操作	S A用代替電源受電（6-E G 3 A） S A用代替電源受電（6-E G 3 B）	切→入	原子炉建屋T.P. 10.3m	A回路受電の場合 B回路受電の場合																																																													
②	系統構成	代替格納容器スプレイポンプ入口管1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—																																																													
③		代替格納容器スプレイポンプ入口管2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—																																																													
④		A-燃料冷却器注水ポンプ出口弁止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水張り																																																													
⑤		代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—																																																													
⑥		ホース	ホース接続	—	—																																																													
⑦		代替格納容器スプレイポンプ出口弁1止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水張り																																																													
⑧		代替格納容器スプレイポンプ出口弁2止め弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	系統水張り																																																													
⑨		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ目取弁	全閉→全開	原子炉建屋T.P. 10.3m	—																																																													
⑩		B-格納容器スプレイ注水出口C/V弁閉鎖操作	全閉→全開	—	交代電源																																																													
⑪		代替格納容器スプレイポンプ起動	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	原子炉建屋T.P. 10.3m	交代電源																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

女川発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	差異理由																																
<div data-bbox="398 770 654 826" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.6.16-(5)</p> <div data-bbox="967 368 1805 475"> <p>1.6.2.2 格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替格納容器スプレイ (a) 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ 【代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉から格納容器へ切替える場合】</p> </div> <div data-bbox="967 480 1805 1098"> <p style="text-align: center;">概略系統</p> <p style="text-align: center;">操作対象機器</p> <table border="1" data-bbox="967 1134 1805 1220"> <thead> <tr> <th>操作手順番号</th> <th>操作内容</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> <th>操作場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①*</td> <td rowspan="5">系統構成</td> <td>B-格納容器スプレイポンプの起動</td> <td>空回→全周</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電報</td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T-F10.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋T-F10.3a</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>④*</td> <td>格納容器内C/V外観確認</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電報</td> </tr> <tr> <td>⑤*</td> <td>格納容器内C/V外観確認</td> <td>全閉→全開</td> <td>中央制御室</td> <td>交代電報</td> </tr> </tbody> </table> <p># 1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> </div>	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考	①*	系統構成	B-格納容器スプレイポンプの起動	空回→全周	中央制御室	交代電報	②*	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開	原子炉建屋T-F10.3a	—	③*	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	全閉→全開	原子炉建屋T-F10.3a	—	④*	格納容器内C/V外観確認	全閉→全開	中央制御室	交代電報	⑤*	格納容器内C/V外観確認	全閉→全開	中央制御室	交代電報	
	操作手順番号	操作内容	操作対象機器	状態の変化	操作場所	備考																												
①*	系統構成	B-格納容器スプレイポンプの起動	空回→全周	中央制御室	交代電報																													
②*		代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開	原子炉建屋T-F10.3a	—																													
③*		代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	全閉→全開	原子炉建屋T-F10.3a	—																													
④*		格納容器内C/V外観確認	全閉→全開	中央制御室	交代電報																													
⑤*		格納容器内C/V外観確認	全閉→全開	中央制御室	交代電報																													

泊発電所3号炉 審査取りまとめ資料 比較対象プラントの選定について

本資料は、泊発電所3号炉（以降、「泊3号炉」という。）のプラント側審査において地震・津波側審査の進捗を待つ期間があったことを踏まえた、審査取りまとめ資料（以降、「まとめ資料」という。）の比較対象プラントの選定について整理を行うものである。

- 整理を行う経緯は、以下の通り
 - 泊3号炉のプラント側審査が地震・津波側審査の進捗待ちとなった期間において、他社プラントの新規制基準適合性審査が実施され、まとめ資料の充実が図られた。
 - 泊3号炉が、まとめ資料一式を提出した2017年3月時点での新規制基準適合性審査はPWRプラントが中心であったが、現在はBWRプラントが中心となっており、それぞれの炉型の審査結果が積み上がった状況にある。
 - 泊3号炉はPWRであり、PWR特有の設備等を有することから、まとめ資料に先行の審査内容を反映する際には、単純に直近の許可済みBWRプラントを反映するのではなく、適切な比較対象プラントを選定した上で反映する必要がある。

- 比較対象プラントを選定する考え方は、以下の通り。

【基準適合に係る設計を反映するために比較するプラント（基本となる比較対象プラント）選定の考え方】

各条文・審査項目の要求を満たすための設備構成・仕様、環境、運用を踏まえ、許可済みプラントの中から、新しい実績のプラントを選定する。具体的には以下の通り。

- ✓ 炉型に拠らず共通的な内容については、泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した時点（2021年7月）で直近に許可済みであった女川2号炉を比較対象として先行審査知見の取り込みを行う。なお、同時期に審査が行われ、女川2号炉に次いで許可を受けた島根2号炉については、女川2号炉と島根2号炉の差異を確認し、島根2号炉との差異の中で泊3号炉の基準適合を示すために必要なものは反映する。
- ✓ 炉型固有の設備等を有する場合については、PWRプラントの新規制基準適合性審査の最終実績である大飯3/4号炉を選定する。
- ✓ 個別の設計事項に相似性がある場合（例えば3ループ特有の設計等）、大飯3/4号炉以外の適切なプラントを選定する。

【先行審査知見^{*1}を反映するために比較するプラント選定の考え方】

炉型に拠らないことから、まとめ資料を作成している時点で最新の許可済みプラントとする。具体的には以下の通り。

- ✓ 泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した時点（2021年7月）で直近に許可済みであった女川2号炉を比較対象として先行審査知見の取り込みを行う。なお、同時期に

審査が行われ、女川 2 号炉に次いで許可を受けた島根 2 号炉については、女川 2 号炉と島根 2 号炉の差異を確認し、島根 2 号炉との差異の中で泊 3 号炉の基準適合を示すために必要なものは反映する。

※ 1 主な事項は、以下の通り

- ✓ これまでの審査の中で適正化された記載
- ✓ 基準適合性を示すための説明の範囲、深さ
- ✓ 設置（変更）許可申請書に記載する範囲、深さ

- 上述に基づく検討結果として、「基準適合に係る設計」と「先行審査知見」を反映するために選定した比較対象プラント一覧とその選定理由を別紙 1 に、条文・審査項目毎の詳細を別紙 2 に示す。
 - 別紙 1：比較対象プラント一覧
 - 別紙 2：比較対象プラント選定の詳細

以上

比較対象プラント一覧

凡例		
●大飯3/4号炉	●女川2号炉	●それ以外の場合

主な審査項目	ステータス	基準適合に係る設計を反映するための比較		先行審査知見を反映するための比較対象	比較表の様式
		比較対象	選定理由		
1.0 43条 共通 (1.0.2 (保管アクセス) 以外)	概ね説明済み	大飯3/4号炉	4.4条以降のSA設備の多くがPWRプラント設計を踏まえたものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	重大事故等への対応に用いる具体的な手順の類似	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.1 44条 ATWS	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.2 45条 高圧時冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.3 46条 減圧	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.4 47条 低圧時冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.5 48条 最終ヒートシンク	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.6 49条 CV冷却	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
1.7 50条 CV過圧破損防止	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大阪

プ
ラ
ン
ト
A

比較対象プラント一覧

凡例		
●大飯3/4号炉	●女川2号炉	●それ以外の場合

主な審査項目	ステータス	基準適合に係る設計を反映するための比較		先行審査知見を反映するための比較対象	比較表の様式		
		比較対象	選定理由				
設備・技術的能力 S A P ラ ン ト	1.8 51条	CV下部注水	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.9 52条	CV水素対策	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.10 53条	RB水素対策	概ね説明済み	大飯3/4号炉 伊方3号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	53条 女川一泊一大飯-伊方
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.11 54条	SFP	概ね説明済み	大飯3/4号炉	SFP配置がBWRと異なるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	SFP配置の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.12 55条	放射性物質の拡散抑制	概ね説明済み	大飯3/4号炉	SFP配置の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	SFP配置の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯
	1.13 56条	水源	概ね説明済み	大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
				大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川一泊一大飯
1.14 57条	電源	概ね説明済み	大飯3/4号炉	電源設備構成の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯	
			大飯3/4号炉	電源設備構成の類似	女川2号炉	女川一泊一大飯	
1.15 58条	計装	概ね説明済み	大飯3/4号炉	監視パラメータの類似	女川2号炉	女川一泊一大飯	
			大飯3/4号炉 伊方3号炉	監視パラメータの類似	女川2号炉	女川一泊一大飯-伊方	

比較対象プラント一覧

凡例		
●大飯3/4号炉	●女川2号炉	●それ以外の場合

主な審査項目	ステータス	基準適合に係る設計を反映するための比較		先行審査知見を反映するための比較対象	比較表の様式
		比較対象	選定理由		
1.16 59条 原子炉制御室	概ね説明済み (原子炉制御室の居住性を確保するための対策はバックフィットのため新規説明)	女川2号炉 大飯3/4号炉	原子炉施設に共通の要求に係る条文であるため女川2号炉をリファレンスとする 事故シナシエンス選定等PWR固有設計に係る事項については大飯3/4号炉をリファレンスとする	女川2号炉	女川-泊-大飯
		大飯3/4号炉	当該SAへの対応はPWR固有のプラント設計に基づくものであるため	女川2号炉	女川-泊-大飯
1.17 60条 監視測定	概ね説明済み	女川2号炉	原子炉施設に共通の要求に係る条文であるため	女川2号炉	女川-泊-大飯
		女川2号炉	原子炉施設に共通の要求に係る条文であるため	女川2号炉	女川-泊-大飯
1.18 61条 緊急時対策所	概ね説明済み	大飯3/4号炉	可搬型設備の設計方針や格納容器ベント設備の有無などPWR固有の設計	女川2号炉	女川-泊-大飯
		大飯3/4号炉	可搬型設備の設計方針や格納容器ベント設備の有無などPWR固有の設計	女川2号炉	女川-泊-大飯

比較対象プラント選定の詳細（技術的能力）

【1.6：CV冷却】

項目		内容
基準適合に係る設計を 反映するために 比較するプラント	プラント名	大飯3／4号炉
	具体的理由	当該条文における重大事故等への対応に用いる格納容器内自然対流冷却手段の活用による対応等についてはPWR固有の設計に基づくものであり、機能喪失を想定する設計基準事故対処設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、PWRプラントとしての基準への適合性を網羅的に比較する観点から大飯3／4号炉を選定する。
先行審査知見を 反映するために 比較するプラント	プラント名	女川2号炉
	反映すべき知見を得るための主な方法	① 資料構成の比較※：当該条文のまとめ資料の構成について比較・整理を行い、その結果、必要と判断した資料を追加することとした。 [事例] 添付資料（手順着手の判断基準、操作手順の解釈など）
	（当該方法の選定理由）	① 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備及び重大事故等への対応設備・手段が大きく異なるため、資料の記載内容も異なるが、資料構成の比較・整理により基準適合の説明のために必要な資料の充足性を確認することが可能なため。

※ 女川2号炉との資料構成の比較に加え、PWRの先行審査実績の取り込みの総括として、大飯3／4号炉のまとめ資料の作成状況（資料構成と内容）を条文・審査項目毎に確認し、基準適合性の網羅的な説明に必要な資料が揃っていることを確認する。

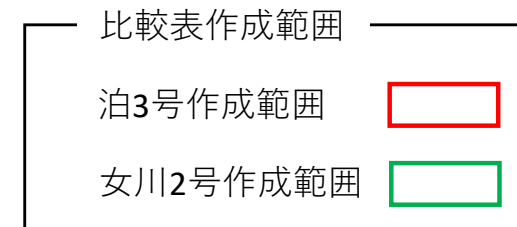
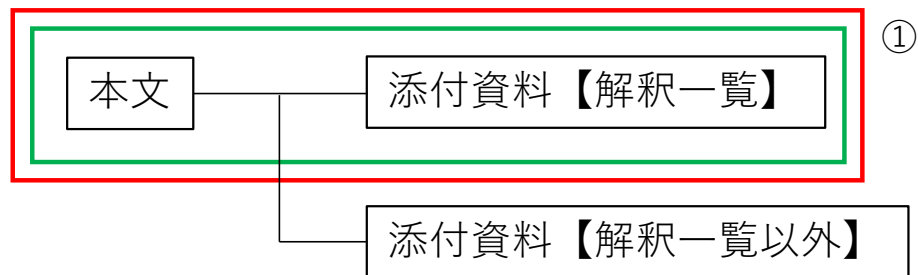
【凡例】 ○：記載あり
 ×：記載なし
 (○)：本条文の資料の他箇所に記載
 △：他条文の資料などに記載

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

プラント		泊3号炉 作成状況		まとめ資料の作成を不要とした理由	まとめ資料または比較表を新たに作成することとした理由 もしくは 記載の充実を図ることとした理由	比較表を作成していない理由
女川	泊	まとめ資料	比較表			
本文	本文	○	○			
添付資料	添付資料	○	○			
添付資料1.6.1 審査基準、基準規則と対処設備との対応表	添付資料1.6.2 審査基準、基準規則と対処設備との対応表	○	×			
添付資料1.6.2 対応手段として選定した設備の電源構成図	添付資料1.6.1 重大事故等対処設備の電源構成図	○	×			
添付資料1.6.3 重大事故等対策の成立性 1. 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系（可搬型）による原子炉格納容器内へのスプレイ	添付資料1.6.4 代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ 添付資料1.6.5 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ 添付資料1.6.6 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 添付資料1.6.7 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 添付資料1.6.8 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ 添付資料1.6.9 B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による代替格納容器スプレイ	○	×			基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していない。
添付資料1.6.4 原子炉格納容器代替スプレイ時の流量調整操作について		×	×	プラント固有の条件を踏まえた設備設計であるため作成不要		まとめ資料を作成していない
添付資料1.6.5 解釈一覧	添付資料1.6.16 解釈一覧 1.「手順着手の判断基準」および「操作手順」解釈一覧 2.操作対象機器一覧	×→○	×→○		当該資料に整理している手順着手判断基準に係るパラメータの設定値や、操作手順に係るパラメータの調整値、操作する弁の名称等については、設工認及び保安規定における審査にて説明することとしていたが、更なる説明性の向上を目的として、今後作成する。	
	添付資料1.6.3 多様性拡張設備仕様	○	×			
	添付資料1.6.10 代替格納容器スプレイによる薬品注入の考え方について	○	×			
	添付資料1.6.11 炉心損傷時におけるC/V破損防止等操作について	○	×			
	添付資料1.6.12 補助給水ピット/燃料取替用水ピットの接続ラインについて	○	×			
	添付資料1.6.13 代替格納容器スプレイと代替炉心注水を同時に行う場合の対応設備の組み合わせについて	○	×			基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していない。
	添付資料1.6.14 炉心及び格納容器内への注水時における格納容器内の水位及び注水量の管理について	○	×			
	添付資料1.6.15 代替格納容器スプレイにおける各注水手段の信頼性について	○	×			

泊3号炉 「比較表」の作成範囲

技術的能力1.1～1.19



※ () 書きは泊と女川で資料名が異なる場合の女川の資料名称
破線の四角は泊になく、女川にしかない資料

① 添付資料の解釈一覧については、泊では元々作成していなかったが新規にまとめ資料を作成し比較を実施する。

資料構成	資料概要	まとめ資料・比較表を作成していない理由
本文	設置変更許可申請書本文及び添付書類十に記載する内容を記載した資料	
添付資料【解釈一覧以外】	評価方針に基づき実施した評価結果等ととりまとめた資料	基準適合性を確認するために必要な評価方針は、本文に記載されており比較表を作成し考察しているため、比較表を作成していない。
添付資料【解釈一覧】	判断基準の解釈一覧、操作手順の解釈一覧等を記載した資料 (逐条により記載項目は異なり、記載がない逐条もある)	